

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和5年度「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立磐田農業高等学校

## 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	22
学校施設の概要	23
在籍生徒調	26
入学志願者及び入学者数調	28
卒業生の動向調	30
生徒の状況	33
授業料収納状況調	34
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	36
保管現金有高調	37
預金調	37
郵券等受払調	37
材料品受払調	38
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	41
委託料に関する調	42
負担金支出調	44
建築工事調	46
公有財産調	50
借地借家等調	52
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	53
行政財産貸付・使用許可調	55
職員公舎管理状況調	56
主要備品調	57
生産物受払調	59
職員調	66
職員の年齢調	69
健康管理	70

## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

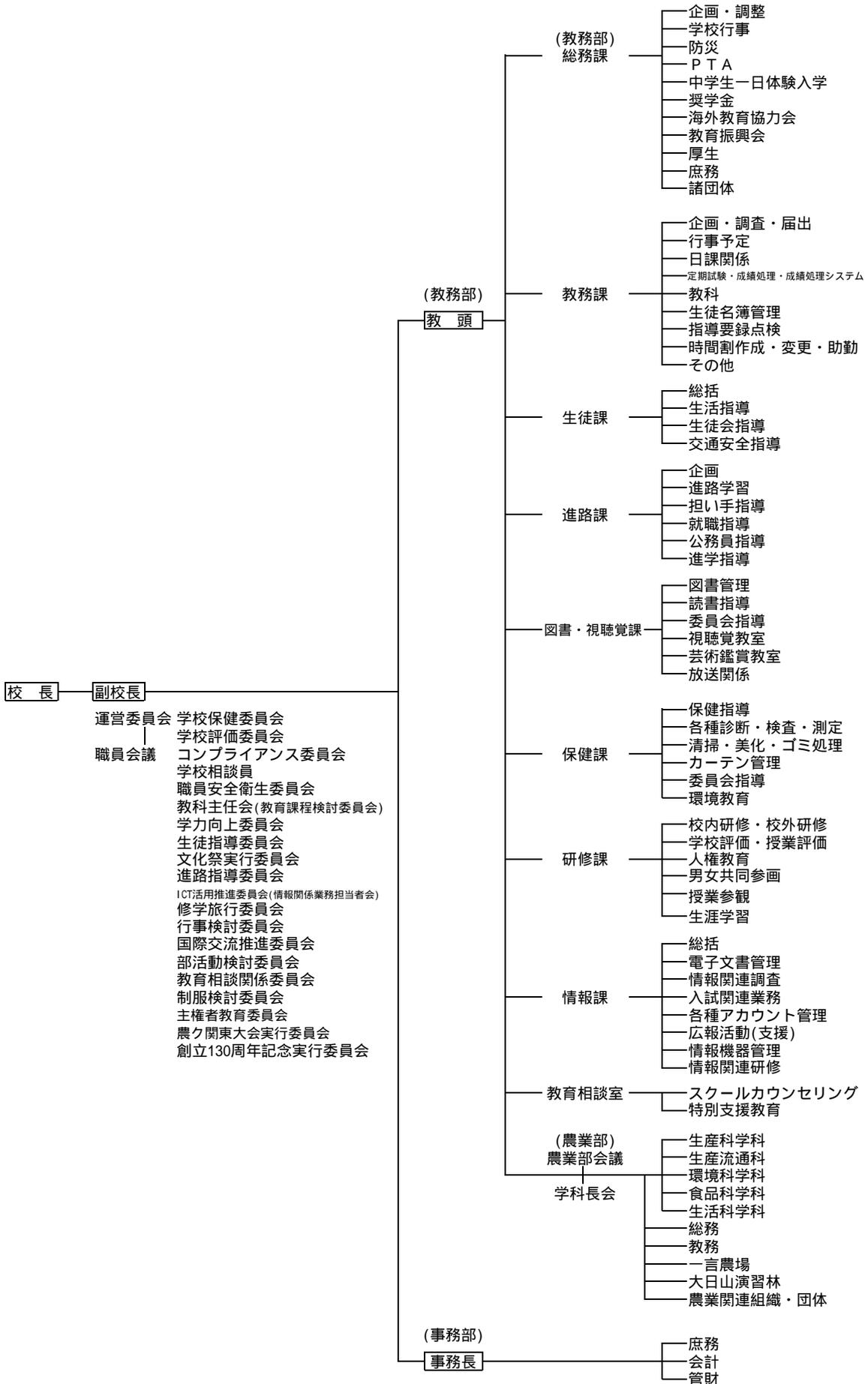
明治 29 年 4 月	見付町に磐田、豊田、山名三郡組合立中遠簡易農学校として設立
明治 32 年 4 月	実業学校令にもとづき甲種程度に変更し、中遠農学校と改称
明治 33 年 3 月	県立に移管し、静岡県農学校と改称
明治 34 年 4 月	静岡県立農学校と改称
明治 37 年 10 月	「高品性、重労働」の校訓を制定
明治 41 年 7 月	現在地へ移転
大正 8 年 4 月	静岡県立中泉農学校と改称
昭和 6 年 4 月	入学資格を尋常小学校卒業程度以上とする 5 年制に組織を変更
昭和 23 年 4 月	新学制により静岡県立磐田農業高等学校と改称
昭和 23 年 9 月	定時制（普通、農業、家庭科）を併設し、掛塚町に竜洋分教場を新設
昭和 26 年 4 月	竜洋分教場を廃止し、本校に別科として併設
昭和 32 年 4 月	園芸科新設（農業科 1 学級を改編し、第 1 学年全日制農業科 4 学級 園芸科 1 学級、別科（農村家庭科）1 学級、定時制普通科 1 学級）
昭和 33 年 3 月	定時制農業科を廃止
昭和 35 年 3 月	別科を廃止し、全日制課程農村家庭科を新設
昭和 37 年 3 月	寄宿舎完成
昭和 37 年 4 月	園芸科 1 学級を増設、畜産科を新設（農業科 1 学級を改編） 農村家庭科を生活科に改称
昭和 41 年 10 月	竜洋町に天竜農場を新設
昭和 43 年 4 月	農業開発科を新設（農業科 1 学級を改編）
昭和 45 年 12 月	体育館完成
昭和 47 年 12 月	農業開発科実習棟完成
昭和 49 年 1 月	武道場完成
昭和 49 年 3 月	農業実験実習棟完成
昭和 51 年 10 月	現校舎完成
昭和 55 年 4 月	造園科を新設（園芸科 1 学級を改編）
昭和 58 年 3 月	造園科実習棟完成
昭和 61 年 3 月	食品製造実習棟完成
昭和 61 年 4 月	農業開発科の名称を農業土木科に改称 食品化学科を新設（畜産科 1 学級を改編）
昭和 61 年 8 月	実験実習棟耐震工事完成
平成 2 年 2 月	園芸実習棟完成
平成 3 年 4 月	生活科を生活科学科に改称
平成 3 年 12 月	グラウンド夜間照明完成
平成 4 年 4 月	食品化学科を食品科学科に改称
平成 7 年 4 月	農業科、園芸科、農業土木科、造園科を改編し、生産科学科、生産流通科、 環境科学科を新設 学系制による募集を導入
平成 8 年 4 月	環境科学科 1 学級減（1 学年 5 学級）
平成 8 年 11 月	創立 100 周年記念式典を挙げる
平成 9 年 4 月	生産流通科 1 学級増（1 学年 6 学級）
平成 13 年 4 月	生産流通科 1 学級減（1 学年 5 学級）

平成 15 年 3 月 本館西側耐震補強工事完成  
平成 20 年 2 月 本館東側耐震補強工事完成  
平成 20 年 12 月 体育館耐震補強工事完成  
平成 23 年 3 月 天竜農場管理棟完成  
平成 23 年 5 月 武道場耐震補強工事完成  
平成 24 年 2 月 講堂耐震補強工事完成  
平成 26 年 9 月 天竜農場一部用途廃止  
平成 28 年 10 月 天竜農場全部用途廃止  
平成 29 年 3 月 一言農場を新設  
令和 4 年 3 月 学系別募集を小学科別募集に変更(生産科学科、生産流通科、環境科学科、食品科学科、生活科学科)

#### 大日山演習林沿革

明治 39 年 3 月 県(大日山分収林)557 町歩地上権設定及び分収林契約(平成 18 年 3 月まで)  
明治 42 年 12 月 学校演習林(大日山)113 町歩 県知事より使用認可  
大正 14 年 6 月 学校演習林(大日山)使用認可変更(52 町 5 反 2 畝 14 歩)  
昭和 13 年 8 月 学校演習林(大日山)経営方承認(52 町 5 反 2 畝 14 歩)  
平成 18 年 2 月 学校演習林(大日山)地上権設定及び分収林契約更新(平成 21 年 3 月まで)  
平成 21 年 2 月 同上契約更新(平成 24 年 3 月まで更新)  
平成 24 年 2 月 同上契約更新(平成 37 年 3 月まで更新)  
令和 2 年 12 月 地上権契約変更

( 2 ) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1) スクールミッション

静岡県西部地域における農業教育の拠点校として、校訓『高品性 重労働（品性を高うして、労働を重んずる）』の下、農業教育を基盤とした、各学科における専門的で充実した授業・実験・実習並びにその学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献活動等を通して、広い教養と農業の知識・技術を身に付け、地域や産業社会の発展に貢献できる心豊かで人間性あふれる人材の育成を目指す。

### (2) 磐農スクール・ポリシー(教育方針)

#### ア グラデュエーションポリシー（卒業認定の方針）

- ・校訓「高品性・重労働」を体現する心豊かな人間の育成
- ・農業教育を基盤とした、各学科における専門的知識と技術・技能の習得
- ・地域社会の「木鐸(指導者)」となるための資質・能力の育成

#### イ アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

- ・本校の校訓及び教育目標の理念に共鳴し、地域社会に貢献する高い志を持つ生徒
- ・農業及び環境・食品等に対する興味・関心を持ち、主体的に学ぶ生徒
- ・基礎学力を有するとともに、実験・実習等に積極的に取り組む生徒

#### ウ カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ・充実した授業・実験・実習と基礎学力保障
- ・自己目標の明確化と3年間を見通した進路指導
- ・学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献
- ・地域課題を解決するプロジェクトによる「地域の未来を創造する力」の育成

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

#### 目標具現化の柱

- ア 心豊かな人間性の涵養とともに基本的な生活習慣を確立させ、規範意識や倫理観等を醸成する。
- イ 夢を育むための充実した授業の実践により、基礎学力の定着及び農業の専門性を向上させる。
- ウ 魅力ある学校行事や部活動等により、主体的に取り組む態度と実践力を育成する。
- エ キャリア教育を推進し、将来を見据えた進路希望の実現を目指す。
- オ 地域での連携・協働を推進し、地域に信頼される基幹施設の地位を確立する。
- カ 教育環境の整備・構築を図ると共に、適正かつ実効性ある学校経営管理を実行する。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	心豊かな人間性の涵養と基本的な生活習慣の確立	「校訓の示す意味が理解できる」生徒 100%	<b>全体 95.9%</b> 1年 96.2% 2年 92.8% 3年 98.8%	B	校訓を知っている生徒は多いが、理解しているかどうかは課題。進路指導における面接練習など、校訓を意識する場面を設けて指導する必要がある。
		年間平均貸出冊数 2.0冊/人以上	年間平均貸出冊数 <b>2.2冊/人</b>	A	図書館オリエンテーション、図書紹介、クラス貸出図書、教科との連携等、生徒の利用を促す取組を実施した。

		「あいさつ運動に参加した」生徒・保護者数延べ 600 人以上	2 学期末までで、生徒延べ 2000 人以上が参加	A	運動部を中心に曜日ごとに担当を決めて実施した。元気な挨拶が相互にできるようになるとより良い。PTA 活動としては、年間 8 回実施し、役員が延べ 63 人参加した。
		「信頼できる教職員がいる」生徒 80%以上	<b>全体 86.2%</b> 1 年 83.4% 2 年 84.1% 3 年 91.9%	A	1 年部では、生徒に寄り添った指導を意識して行った。2 年部では、教員間で連絡を密にし、様々な場面で複数の教員で対応した。3 年部では、教員が生徒の個性を温かく受け入れており、生徒が安心して生活できた。
		欠席率 1%以下（出席を除く）	出席停止を除く欠席率 <b>全体 2.39%</b> 1 年 1.88% 2 年 3.47% 3 年 1.81%	C	登校することへの心構えを改めさせる指導は必要。多少体調が悪くても登校するという時代でもなく、欠席に対するハードルが下がっている状況の中で、設定した数値目標の達成は難しい。ただし、定期テストなどを安易に欠席する状況は要改善。
		「いじめ調査」により問題把握から迅速な対応に努め、対応遅延件数 0 件	「いじめ調査」を年 3 回実施し、生徒の様子を職員と情報共有した。	B	個々の教職員と連携をとり、気になる生徒の情報共有ができた。悩みを抱える生徒とスクールカウンセラーをつなげることができた。「いじめ調査」の実施方法等については今後改善が必要。
イ	基礎学力の定着と農業の専門性の向上	ICT 機器を活用した授業実践する教員 100%	90%程度の実施	B	研修課、情報課と連携して研修を行い、その成果が表れてきている。一方で、ICT 機器を使える環境も整いつつあるが、接続の不安定さや本館以外で繋がらないところなど、ICT 機器利用 100%を達成するにはまだまだ環境整備が必要である。
		家庭学習「ほとんどしない」の割合を前年比 20%削減	「ほとんどしない」生徒の割合 令和 4 年度 37.9%	B	スタディサプリなどを活用し、家庭学習の機会が増えてきているが、それが意

			令和5年度 <b>32.8%</b> およそ <b>15%程度の減少</b>		識されていない生徒もいる。引き続き学習とそれを積み重ねる必要性を理解させる指導が必要である。	
		I C T研修会の開催 3回/年以上	<b>3回/年 実施</b>	A	研修課及び情報課で連携して、外部講師及び教科内での研修を予定通り実施した。	
		J G A P承認継続と 県G A P認証取得新規 2件	<b>2件</b> J G A P承認継続 県G A P認証新規取得(スイカ)	A	教科「農業と環境(スイカ)」で県G A Pを認証できた。審査会には生徒が立ち会って説明した。	
		課題研究+部活動等で 県大会優秀レベルの発表 3本以上	各種発表県大会優秀 3本、全国大会農業 情報処理競技会にて 最優秀	A	全国大会の情報処理競技会で最優秀、農業鑑定で2名が入賞。	
		R 7 農業クラブ関東 大会に向けた事務局 の整備	第3専門委員会を実施、ポスター、スローガン募集	A	実施大綱を定め、他校との協力体制を整えながら、着実に準備を進めている。	
ウ	学校行事や部活動により、主体的に取り組む態度と実践力を育成		校風や伝統を理解している生徒 <b>全体 94.0%</b> 1年 97.3% 2年 90.7% 3年 93.7% 継承できたもの <b>全体 88.7%</b> 1年 90.4% 2年 83.9% 3年 93.1%	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種学校行事がコロナ禍以前の形に戻って実施できた。一方で、演習林実習を本年度から取り止めたため、農業高校の特徴的な行事がなくなった。	
			「学習や行事・部活動の場面で自ら主体的に取り組めた」生徒 50%以上	<b>全体 95.7%</b> 1年 96.3% 2年 94.6% 3年 96.3%	A	どの学年の生徒も、澄水祭や体育大会、部活動を中心に率先して、熱心に活動する姿が見られた。
			全国大会出場3部活、 県大会出場5部活以上	全国大会出場 <b>2部</b> (水泳・馬術) 県大会出場 <b>4部</b> (水泳・陸上馬術・バドミントン・囲碁将棋)	B	農業クラブ活動では2件の全国大会出場実績がある。うち1件は日本一。
			地域活動・ボランティア活動・海外研修等で「具体的な行動実践ができた」生徒80%以上	地域活動やボランティア活動へ参加した生徒 <b>全体 52.1%</b> 1年 58.8% 2年 49.5% 3年 47.2% 国際交流活動へ取り組んだ生徒(オンラ	B	地域活動では、農業クラブ本部で軽トラ市や産業振興フェア等に積極的に参加した。国際交流では、タイ王国パヤオ農工や台湾とzoom交流を行った。また、3名の生徒が個人的に農業をテーマにした海外研修に参加した。

			イン含む) 全体 8.8% 1年 4.2% 2年 17.0% 3年 5.0%		
工	将来を見据えたキャリア教育の推進と進路実現	進路決定率 100%	進路決定率 100%満足している 97.5%	A	第3学年在籍生徒全員の卒業後の進路が決定した。
		学科関連への進路選択者 50%以上	就職者 20.9% 進学者 45.5%	B	昨年から横ばい。農業科と連携した授業の展開とキャリア形成、地域との関係、生徒・保護者の理解等がかみ合っこそ目標達成の道が見えてくる。インターンシップの重要性を考えたい。食品系の製造業は特に数が少なく、推奨するのが難しい状況にある。
		国公立大学進学者 10人以上(各科複数名)	2人	C	国公立大学進学者を10人出すためには、希望者は20人くらい必要。担任指導の段階から、希望者が少なかった。生徒の1割が国公立大学への進学を目指すような「特進」体制の構築と、生徒・保護者、中学校への周知が必須である。
オ	地域に信頼される基幹施設の地位を確立	学校HP情報更新件数 1.0件/日以上	数値目標を若干下回るが、本年度開設したInstagramと合わせると、学校活動がある日はほとんど更新している。	B	写真入りの記事を多く更新すると、HPサーバーの容量を超える恐れがあるため、本年度からInstagramを開始し、HPとの併用を図った。農業部では日々の授業や行事の情報をアップしている。
		「地域との連携が積極的に行われている」学校運営協議委員による評価オールA	農産物の販売や、幼保賞などとの交流など、地域との連携は高く評価していただいた。	A	地域とのつながりの中で、磐農生としての姿を見せることが、学校としての最大のPRの場になるという意識を持たせ、継続していきたい。
		交流事業の点検、取捨	例年通りの交流事業を行った。	B	フォアフロント体験教室等の新規の交流事業が増えた。点検・取捨は今後検討する。

		地域人材や地元大学等の活用と交流実績 10回/年以上	講師招請授業 27件	A	高度外部人材の活用、大学コンソーシアムを利用し各学科で積極的に実施している。学科企業ガイダンスや磐農インターンシップ等を実践した。
		ふじのくに中学校との重大トラブル0件 (中・高間共用ルールの確立)	大きなトラブルは生じていない。	A	今後の中学校との連携の在り方を再確認する。年次進行(生徒数増加)で増えていくことが予想される共用スペースの使用ルールについて、早急に協議する必要がある。
力	適正かつ実効性ある学校経営管理	働き方改革の推進(業務内容の取捨、労務意識の向上)	「文化の匠」「スポーツエキスパート」等の事業の活用により、部活動顧問の負担軽減を図っている。	B	行事や業務の精選、会議等の効率化など、さらなる工夫が必要。部活動指導に関しては、地域移行が本格的に進まない限り、根本的な改善は困難な状況にある
		学校経営目標に沿った計画的予算の執行	学科予算を編成・改善した。	A	予算減により執行に苦慮した。光熱水費の高騰、物価高が追い打ちをかけた。農業部では学習内容と予算の一体化の方針の基、学科予算を編成し執行した。
		適正な会計事務の執行	12月現在 注意事項 2件	B	会計事務検査において注意を受けた。今後も適正な事務処理を行う。
		学習計画に即した農業会計の円滑な処理	学科予算の編成 県費・私費・農業会計の改善	A	事務室と農業部で連携し会計処理を行った。また、農業部でも減少している予算への対応を検討している。学校徴収金の明瞭化ができた。
		大日山演習林の移管処理	演習林返還手続きの開始 閉山式の計画	A	県と連携して返還事務業務を行っている。農業部では閉山式の計画を立案した。

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

目標具現化の柱

- ア 心豊かな人間性の涵養とともに基本的な生活習慣を確立させ、規範意識や倫理観等を醸成する。
- イ 夢を育むための充実した授業の実践により、基礎学力の定着及び農業の専門性を向上させる。
- ウ 魅力ある学校行事や部活動等により、主体的に取り組む態度と実践力を育成する。
- エ キャリア教育を推進し、将来を見据えた進路希望の実現を目指す。
- オ 地域での連携・協働を推進し、地域に信頼される基幹施設としての地位を確立する。
- カ 教育環境の整備・構築を図ると共に、適正かつ実効性ある学校経営管理を実行する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	心豊かな人間性の涵養と基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校訓「高品性・重労働」に対する正しい理解の啓発</li> <li>○心を育む読書の推奨と図書室の有効活用</li> <li>○あいさつ運動への主体的な参加（生徒、保護者の協働活動）</li> <li>○積極的な声かけにより成長を促す生徒指導の実践</li> <li>○定期的な「いじめ調査」により早期の問題把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「校訓の示す意味を理解し、実践を心掛ける」生徒100%</li> <li>○年間平均貸出冊数3.0冊/人以上</li> <li>○「主体的なあいさつ習慣が身につけている」生徒90%以上</li> <li>○「信頼できる教職員がいる」生徒90%以上</li> <li>○欠席率2%以下(昨年2.39%)</li> <li>○問題把握から迅速な対応に努め、対応遅延件数0件</li> </ul>
イ	基礎学力の定着と農業の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校生のための学びの基礎診断の測定ツール活用</li> <li>○ICTによる個別最適学習の推進（スタディサプリ等の活用）</li> <li>○「みどりの食料システム戦略」の理解（キーワード：Sustainable/Smart/organic）</li> <li>○安全教育の推進と徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○測定ツールの学力把握に基づき、学力向上に取り組んだ生徒80%以上</li> <li>○家庭学習「ほとんどしない」生徒25%以下</li> <li>○学力向上研修会の開催</li> <li>○既存GAP承認の継続と新規県認証取得1件</li> <li>○農クプロジェクトで県大会優秀レベルの発表3本(関東1本)</li> <li>○農業専門技術研修会の開催</li> <li>○実習中における重大事故「0」</li> </ul>
ウ	学校行事や部活動により、主体的に取り組む態度と実践力を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「磐農文化(農業・校風)」を継承すべき学校行事等の計画と実施</li> <li>○生徒会・農ク活動等における生徒の主体的な態度の醸成</li> <li>○「地域の未来を創造する力」の育成(課研、地域活動、ボランティア、海外研修等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「磐農の学校文化・風土を理解し継承できた」生徒の90%以上</li> <li>○「学習や行事・部活動に主体的に取り組めた」生徒90%以上</li> <li>○全国大会出場3部活、県大会出場5部活以上</li> <li>○「地域の未来創造に貢献したと誇れる」生徒50%以上</li> </ul>
エ	将来を見据えたキャリア教育の推進と進路実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見据えた充実した進路指導(キャリア教育)の実現</li> <li>○農業(学科)関連産業人の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路決定率100%</li> <li>○「キャリアパスポートを進路実現に活用した」生徒80%以上</li> <li>○学科関連への進路選択者50%以上</li> <li>○国公立大学進学者10人以上(各科複数名)</li> </ul>
オ	地域に信頼される基幹施設の地位を確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者や地域等外部への積極的な情報発信(定量把握)</li> <li>○地域(学校&lt;大学・高校&gt;、自治体、企業等)との連携・協働の推進と精選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校HPやInstagram等による情報更新件数1.0件/日以上</li> <li>○地域人材や地元大学等の活用と交流実績10回/年以上</li> </ul>

		○ふじのくに中学校との施設共用 (体育施設・特別教室等)	○中・高間共用ルールの作成
力	適正かつ実効性 ある学校経営管 理	○働き方改革の推進 (時間外勤務の削減、休暇取得の励 行、定時退勤日の設定<月曜日>)  ○学校経営目標に沿った計画的予算 の執行 ○適正な会計事務の執行  ○学習計画に即した農業会計の円滑 な処理 ○大日山演習林の移管処理	○時間外 45h /月、360h /年以内 ○夏季休暇取得 100% ○定時退勤日の運用 100% 16:50 退勤励行 18:00 完全退勤 ○四半期ごとの執行計画の立案と執 行率 90% ○検査・監査での指示・指摘事項 0 件 ○各授業における適切な予算の立案 と執行への取組 100% ○計画に基づく完全移管完了 (R7.3.31)

(2) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評 価	成果と課題
ア	心豊かな人間性 の涵養と基本的 生活習慣の確立	校訓の示す意味を 理解し、実践を心掛 ける生徒 100%	全体 77.8% 1年 71.2% 2年 79.4% 3年 82.0% 多くの生徒が校訓 や学年目標を理解 するとともに、 日々心掛けて生活 していた。	B	・自ら進んで仕事を引き受け るなど、他人のために行動を 起こせる生徒は少ない。(1 年) ・より一層自分自身を高める行動 をとってもらいたい。(2年) ・実習や行事などで周囲に気を配 りながら行動することができた。 (3年)
		年間平均貸出冊数 3.0冊/人以上	年間平均貸出冊数 3.1冊/人	A	・図書館オリエンテーション や図書委員による図書紹介、 教科との連携など、生徒の利 用を促す取組みを実施した。
		「主体的なあいさつ 習慣が身につしてい る」生徒 90%以上	全体 86.0% 多くの生徒が自ら 進んで挨拶ができ た。年間4回、P T A役員延45人が 参加し、生徒と一 緒にあいさつ運動 を行った。	A	・相手に伝わるようにより大 きな声で挨拶ができるとよ い。 ・P T A役員と生徒が協力し 行えた。今後も継続してい きたい。
		信頼できる教職員 がいる」生徒 90% 以上	全体 75.0% 1年 70.8% 2年 78.6% 3年 75.2% 90%には至らな かったが、多くの 生徒が信頼できる 教職員がいるとい う結果であった。学 年進行に伴い、信 頼できる教員がい ると回答する生徒	B	・多くの教職員が多方面から 生徒一人ひとりを観察すると ともに、情報交換を行った。 今後も、生徒の実態に応じた きめ細やかな指導と支援を継 続する。(1年) ・次年度は、いよいよ本格的な進 路指導も始まるため、より一層の 信頼関係を築いていく必要があ る。(2年) ・進路活動を通して教員との 関りを深めた。(3年)

			が徐々に増加。		
		欠席率 2%以下 (昨年 2.39%)	<p>全体 1.82%</p> <p>1年 1.19%</p> <p>2年 1.57%</p> <p>3年 2.7%</p> <p>新型コロナが第5類となったことに伴い、欠席率も増加傾向となったが、比較的低い数値を維持することができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立を促すとともに、心身を理由とした長期欠席を未然に防げるよう、声掛けを十分に行っていく必要がある。(1年)</li> <li>・長期欠席をしている生徒が少ないことが、この結果につながったと考えている。欠席時の保護者との連絡をしっかりと継続していきたい。(2年)</li> <li>・就職活動で欠席数が多いという理由で苦戦をした生徒もおり、生活習慣を整えられるよう指導する必要があった。(3年)</li> <li>・毎朝の健康調査を実施して生徒個々の体調変化に対応することを継続する。(保健課)</li> </ul>
		問題把握から迅速な対応に努め、対応遅延件数 0件	<p>全体 0件</p> <p>関係各所で連携し、迅速に対応することができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒課職員が不足した時には各学年からの協力を得ることができた。(生徒課)</li> <li>・保健室利用者を教育相談室・スクールカウンセラーにつなぐことを継続する。(保健課)</li> <li>・スクールカウンセラーも含めたケース会議実施等、生徒・保護者ともに対応できた。(教育相談室)</li> </ul>
イ	基礎学力の定着と農業の専門性の向上	測定ツールの学力把握に基づき、学力向上に取り組んだ生徒 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサプリの連動課題を活用するなどして、学力向上に取り組んだ。(1・2年)</li> <li>・スタディサプリの連動課題への取り組みが甘い。進学者の基礎学力養成に活用したが、受け身となっていた。(3年)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定ツールを有効に活用しつつ、基礎学力の定着に向けて授業改善を行っていく必要がある。(1年)</li> <li>・連動課題の提出率はほぼ100%であるが、それによってどれくらい力がついているかは検証が必要。(2年)</li> <li>・進学者の基礎学力養成に向けて、教科担当とも連携しながら進める必要がある。(3年)</li> <li>・スタディサプリ(到達度テスト)による基礎学力向上を体系的・組織的に取り組む仕組みを構築した。(進路課)</li> </ul>
		家庭学習「ほとんどしない」生徒 25%以下	<p>全体 40.1%</p> <p>1年 20.5%</p> <p>2年 41.8%</p> <p>3年 55.5%</p> <p>ほとんどしない生徒の割合が多く、目標値には届かなかっ</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣は少しずつ定着している。教科・学科を越えて家庭学習習慣を確立させる取り組みを検討していく必要がある。(1年)</li> <li>・なぜ家庭学習が必要かということを理解している生徒が少なく、</li> </ul>

			た。また、進路意識と学習意識がなかなか結び付かない生徒が多かった。		それが数字となって表れている。 (2年) ・進路決定はもちろん、決定後、進路先での学びを保証するために学習をするという意識づけが必要。(3年) ・スタディサプリや一般常識を主体的・計画的に学習する習慣づくりを学年と連携して実施する。(進路課)
		学力向上研修会の開催	ICT機器の授業への利用について研修会を実施した。	B	・ICT機器の授業への利用が増加した。教員間で習熟度に差がある。
		既存GAP承認の継続と新規県認証取得1件	JGAP(玄米)継続、 県認証(スイカ)継続 新規取得なし	B	・滞りなく継続することができた。継続した引継ぎや理解している職員の数を増やすことが課題である。
		農クプロジェクトで県大会優秀レベルの発表3本(関東1本)	農ク各種発表県大会で、プロジェクト発表最優秀2本(関東大会出場)、意見発表優秀2本。	A	・本校を会場に県大会が開催され、多くの生徒が高いレベルのプロジェクト発表を見学する機会となった。今後に期待したい。
		農業専門技術研修会の開催	有機農業人材育成研修会(教員向け)を7月3日に実施。	A	・本校を会場に開催され、5名の教員が実践発表を行った。
		実習中における重大事故「0」	重大事故「0」	A	・安全な実験実習が実施できた。業務上必要な技能講習や特別教育を6名の教員が受講。
ウ	学校行事や部活動により、主体的に取り組む態度と実践力を育成	「盤農の学校文化・風土を理解し継承できた」生徒90%以上	全体 74.5% 澄水祭では学校文化や伝統を重視した取り組みができた。学習成果の発表の場として工夫しながら進めつつある。学校行事が計画通り実施されるよう関係各所と相談して調整した。	B	・楽しむだけでなく、引き続き文化継承についても意識させていきたい。(生徒課) ・ワークショップを展開する団体もあり、活動の輪を広げていきたい。(農業部) ・計画変更時の対応について、想定して準備しておきたい。(教務課)
		「学習や行事・部活動に主体的に取り組めた」生徒90%以上	全体 77.2% 多くの生徒が学習活動や学校行事に主体的に取り組むことができた。	B	・教員が情報交換をし、核となる生徒(リーダー)を養成する必要がある。(1年) ・行事や部活動と比べると学習に主体的に取り組んでいるかについては課題が残る。(2年) ・体育大会が中止になったのは残念であった。代替日の検討が

					必要（3年） ・体育大会が中止になったことで上級生の不満が残った形となった。代替案の検討が必要。（生徒課）
		全国大会出場3部活、県大会出場5部活以上	全国大会：水泳、陸上競技、馬術、 県大会：水泳、陸上競技、馬術、野球、バドミントン	A	・全国に3部活、県大会に5部活出場（部活動） 農ク関東大会出場プロジェクト発表2件（農ク）
		「地域の未来創造に貢献したと誇れる」生徒50%以上	・地域活動・ボランティア活動への参加率は58.0% ・タイ王国パヤオ農工との交流に2名、韓国研修に1名、中国研修に1名参加。 ・あいさつ運動、交通安全運動、磐田メモリアルマラソンボランティア等	A	・新型コロナウイルス感染症によりできない時期があったが打合せを密に行い再開できた。（総務課） ・プロジェクト発表校内大会で11グループ中8グループが地域課題をテーマに設定していた。生徒たちが主体的に取り組み地域貢献できているということを自覚させたい。（農業部）
エ	将来を見据えたキャリア教育の推進と進路実現	進路決定率100%	3年生自身の進路への満足度88.4%	A	・おおむね達成できた。就職と進学を分け、それぞれの時期に適した指導を行った。受け身の生徒への意識づけが課題。（3年） ・おおむね達成できたが、働く意義を考えた就職や高い目標に挑戦する進学指導が課題。（進路課）
		「キャリアパスポートを進路実現に活用した」生徒80%以上	キャリアパスポートを定期的に活用し、勤労観・職業観の育成、進路学習や学期の振り返りを行った。	A	・3年間の活動を整理・精選し、より進路実現に活用できる体制を構築する。（1年） ・LHRでやらなければいけないことがたくさんあり、キャリアパスポートを有意義に使うところまではできなかった。（2年） ・LHR計画とキャリアパスポート、進路活動をどう連携させるかが課題。学年教務、進路と連携し、3年間を見通す必要がある。（3年）
		学科関連への進路選択者50%以上	・1年では学科関連の事業所見学を行うとともに、学科関連企業や学問への理解を深める活動を行った。 ・2、3年では学科関連の進路選択者及	B	・学科と連携しながら、3年間を見通した進路計画の立案と修正を行う必要がある。（1年） ・進路課と相談しながら、進路学習や進路ガイダンスを行うことができた。（2年） ・各学科の課題研究設定や学科

			び希望者は50%には満たない状況。		<p>ごとの講演会など、生徒への働きかけが必要。(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科によるキャリア教育の必要性を感じる。(進路課)</li> <li>専門の学習と進路が直結する進路実現をさせたい。(農業部)</li> </ul>
		国公立大学進学者10人以上(各科目複数名)	1名(静岡大学)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学で学ぶことの魅力に触れる機会を設ける。(3年)</li> <li>中学校へのPRも含め進路指導体制の構築が必要。(進路課)</li> </ul>
オ	地域に信頼される基幹施設の地位を確立	学校HPやInstagram等による情報更新件数1.0件/日以上	Instagram約190件 HP約120件 総務課ではPTA活動をアップロードした。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や行事の各担当職員が頻繁な更新を手掛けたことがこの結果に繋がっている。1月から移行した新HPシステムでの円滑な作業支援が次年度の課題である。(情報課)</li> <li>今後もPTAと連携して行っていく。(総務課)</li> </ul>
		地域人材や地元大学等の活用と交流実績10回/年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路活動において各学年で地元企業や大学・専門学校等との交流を行った。</li> <li>課題研究をはじめとした様々な農業科目において講師招請、校外学習を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンスで地元企業や大学を利用した。(進路課)</li> <li>進路活動とリンクさせながら、今後も地域人材の活用や大学等との連携も強化していきたい。(学年部)</li> <li>各種学習活動の中で講師招請や校外での学習を進めることができた。(農業部)</li> <li>PTAとの連絡打合せを密にできた。(総務課)</li> </ul>
		ふじのくに中・磐田農高間共用ルールの作成	大きなトラブルもなく、円滑に教育活動を行うことができている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、中学校との連携の在り方について確認をしていく。</li> </ul>
カ	適正かつ実効性ある学校経営管理	時間外45h/月、360h/年以内	平均45h/月:53.6% 360h/年:46.4%	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては時間外在校時間の減少傾向が見られるが、個々には増加している教員もいる。さらに業務の削減、効率化に努める。</li> </ul>
		夏季休暇取得100%	98.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼすべての教員が夏季休暇を取得しているが、夏季休業中の取得促進日含め、連続した取得については不十分な状況がある。</li> </ul>
		定時退勤日の運用100% 16:50退勤励行 18:00完全退勤	定時退勤日については呼び掛けているが、完全退勤については不十分であった。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の調整、業務整理を進め、定時退勤日の確実な運用に努める。</li> </ul>
		四半期ごとの執行計画の立案と	第1四半期53% 第2四半期90%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>執行計画は立案済み、執行率達成は1回、適正な執行に</li> </ul>

	執行率 90%	第 3 四半期 123% 第 4 四半期 276%		努める。
	検査・監査での指示・指摘事項 0 件	監査、検査指摘 0 件	A	・監査指摘なし、R6 会計、検査指摘なし。今後も適正な事務処理を行う。
	各授業における適切な予算の立案と執行への取組 100%	適切な執行ができた。	A	・各教科と連携して予算を立案した。執行への取組み 100%。今後も適正な執行に努める。(事務部) ・農業科目に関わる徴収金について、シラバスに基づく実験・実習を計画的に実施できた。(農業部)
	計画に基づく完全移管完了 (R7.3.31)	演習林返還手続きの終了 (R7.3.31)	A	・県と連携して返還事務業務を行った。

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取組概要	成果及び課題
令和5年度	<p>(1)基本的な生活習慣を確立させ、規範意識や倫理観を身に付けさせる</p> <p>(2)授業改善に取り組み、教室文化の醸成と学ぶ姿勢の活性化を図る</p> <p>(3)基礎学力の定着・向上と農業に関心を持たせ、学習や実験・実習等に意欲的に取り組ませる</p> <p>(4)農業クラブ活動の活性化と充実を図り、積極的に取り組ませる</p>	<p>朝の登校指導などを通し、気持ちの良い挨拶が定着し、磐田農業高校の伝統として一定の評価を受けている。コロナ禍を経て、学校及び家庭ともに無理に登校させないという習慣ができ、欠席数自体はかなり多くなっている。一方で定期試験などについては安易に欠席することがないよう、日頃の健康管理も含めた指導が必要である。</p> <p>重大な生徒指導上の問題行動はないが、日常生活におけるマナー等、継続した指導が必要である。</p> <p>I C T活用に関する定期的な校内研修を行い、実習科目含めた授業における教員のI C T活用および生徒の個人端末の活用状況ともに良好である。一方で、活用することによる学びの質の深化・向上については今後検証が必要である。また、観点別評価については評価規準の在り方含め、引き続き研究が必要である。</p> <p>1、2学年でスタディサプリを導入し、それぞれ学年で計画的に課題を提示して取り組ませることで、家庭学習時間が徐々に増えてきている。一方で、到達度テストの結果の分析や実施後の課題改善などが不十分であるため、次年度以降は学校全体での取り組みにできるように、中心となる担当分掌を明確にする。</p> <p>全国大会に8人が出場（農業鑑定6人、農業情報処理競技1人、家畜審査競技1人）し、農業情報処理競技では最優秀（農林水産大臣賞）を受賞。また、1月に行われたプロジェクト発表県大会においては、最優秀賞を2件受賞することができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、様々な活動の制限が解除され、徐々に学校内外の活動が活気を取り戻している。今後も課題研究・プロジェクト学習を充実させていくことで、より本校の発信力を強めていきたい。</p>

年 度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>(1)高校生のための学びの基礎診断等の測定ツールを活用し、意欲的に学習に取り組む習慣を身に付け、基礎学力の定着を図る。</p> <p>(2)地域との連携・協働を推進し、地域に信頼</p>	<p>基礎力診断テスト（ベネッセ）到達度テスト（スタディサプリ）を併用し、学習姿勢、基礎学力について各業者より分析結果について説明を受け、今後取り組むべき学習活動に対する助言を得た。特に、スタディサプリでは到達度テストとの連動課題を進路課と学年部が連携して行い、基礎学力の定着に向けた取り組みを実施し、一定の効果をあげた。一方で、課題の取組に学年間で差が見られること、学習の目的が進路実現のためという偏ったものから脱することができず、学習習慣を定着させることができなかったことが課題である。</p> <p>新科目「地域資源活用」では地元農家と連携し、持続可能な農業を展開するための一つの策として農産物</p>

	<p>される基幹施設としての地位を確立する。また、国際理解・国際交流を推進する。</p> <p>(3) 農業クラブ活動の活性化と充実を図り、積極的に取り組ませる</p> <p>(4) 学科関連分野への進路選択、より高い進路目標の設定と進路実現に向けた組織的な取組</p>	<p>産物のブランディングによる適正価格での販売に挑戦した。その他にも、磐田市と連携した「磐農生と巡る食と農の魅力旅」や「ミシシippアカミミガメの堆肥化」などの取り組みを展開し、TBSテレビ（THE TIME）やSBSテレビの各種番組など、多くのメディアに取り上げられた。また、幼稚園や保育園などとの交流、こども食堂との定期的な連携など、多彩な取り組みを行った。</p> <p>国際交流では、姉妹提携先であるパヤオ農工専門（タイ）へ6年ぶりに生徒2名を派遣したほか、中国、韓国へそれぞれ1名が短期留学した。</p> <p>令和7年度農ク関東大会静岡大会の事務局校として校内組織のみならず県内農業関連高校の取りまとめを行った。会場となるアクトシティ浜松との綿密な打ち合わせ、協力団体との連絡調整、プレ大会となる各種発表県大会の企画など、多岐にわたる業務を行っている。一方で、本校生徒の大会成績は、プロジェクト発表で関東大会に2名、農業鑑定で全国大会に9名が出場したが、内容としては課題が残る結果となった。事務局校としての業務と並行しての取組となるが、各学科が課題意識を持ち、日々の授業やプロジェクト学習に取り組ませたい。</p> <p>進路実績としては、一般受検で国立大学（静岡大学）へ1名進学した。進路意識が非常に高く、個人の粘り強い努力が実った形である。一方で学科関連分野を進路先にした卒業生は5割に満たないのが現状。1年次の事業所見学や2年次の進路ガイダンス等、生徒の進路選択の視野を広げる取り組みは行っているものの、各行事がその後の学習活動に生かせていない面がある。学科関連企業への意識、国公立大学をはじめとした難関校への進学意欲、各種資格取得への意欲などの向上未向け、進路課と各学年部が連携し、計画的なキャリア教育を展開していく必要がある。</p>
--	---	---

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分	本務職員												臨時的任用職員・会計年度任用職員							総合計				
	教育職員						行政職員						教育職員				行政職員							
	校長	副校長	教頭	教諭	主任実習助手	実習助手	計	事務長	主任査査	主任任事	主任技能員	主任技能員	計	教諭	実習助手	非常勤講師	計	非常勤嘱託員	非常勤労務職員		生産物管理嘱託員	計		
退職				2			2					1	1	3	1	1	6	8		7	4	11	19	22
転出	1			2	1		4		2	1			3	7										7
再任用	退職			5			5						5											5
	任用			1			1				1	1	2											2
転入	1			5		1	7		1	2			3	10										10
新任				1			1						1	5	2	5	12			7	4	11	23	24
差引増減				2	1	1	2		1	1			2	4	1	1	4						4	2

(2) 現員数 (令和7年4月1日現在)

(単位：人)

区分	教育職員							行政職員							合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	計	事務長	主任査査	主任任事	主任技能員	主任技能員	計	
男	1	1	1	33		1	1	38	1	1			2	4	42
女				10	1		3	14		1	2	1		4	18
計	1	1	1	43	1	1	4	52	1	2	2	1	2	8	60

再任用教諭： 週19時間25分1人

区分	教育職員					行政職員				学校医等
	教諭(臨)	実習助手(臨)	非常勤講師	外国語指導講師	計	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	生産物管理嘱託員	計	
男	3		3	1	7		6	4	10	6
女	2	2	2		6		1		1	
計	5	2	5	1	13		7	4	11	6

(3) 健康管理について

教職員の身体的、精神的な健康の維持増進を図るため、以下の取組みをした。

ア 定期健康診断を年一回実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、検査結果を活用し職員に対し健康の保持増進に努めるよう促した。

イ 職員安全衛生委員会を月1回開催し、健康管理医より指導助言をいただいた。また、併せて健康管理医による職場巡視を実施し、職場環境の整備・改善に努めた。

ウ 時間外在校時間が長時間に及ぶ者で、健康管理医等の面接指導を希望する者はいなかった。前年に比べ全体的には長時間勤務者は減少傾向にある。分掌等の変更により一部の職員が長時間勤務となっている状況があるが、次年度に向けて改善策を図りたい。また、部活動が主たる要因となっている者に関しては、部活動指導員やスポーツエキスパートの活用により前年度からの勤務時間の削減がみられるものの、根本的な解決には至っていない。今後は、校内業務の見直し等によるさらなる改善策を検討したい。

(4) 教職員の研修について

ア 校内研修<令和5年度>

研修の目的	研修内容及び成果	課題
「ICT活用への第1歩を踏み出す」 教員のICT活用指導力には個人差があるため、研修を通じて授業への導入を促す。 また、研修体制の充実や学習指導要領の趣旨を踏まえ、新規の研修として2年計画で取り組む。	5月 今年度の研修テーマの確認 指導主事定期訪問ではICTを活用した研究授業に取り組み、全体研修で各教科による事例発表を実施。	情報課の対応により、本校職員のICT活用への意欲・理解は高い。研修課と情報課の協力体制の下、効果的な研修が実施でき、教員のICT活用頻度は向上している。今後は、生徒の学びへの有効性を検証していくことが課題である。
	6月 授業見学週間(前期)	
	7月 ICT活用に関する教科別研修会を実施。	
	8月 ICT活用のスキルアップを目的に、外部講師による研修を実施。教員の慣熟度別に2講座開講した。	
	9月 授業見学週間(後期)	
	12月 ICT活用に関する教科別研修会を実施。	
	1月 ICT活用及び学習評価に関するアンケートを実施。	
	2月 ICT活用に関するアンケートの結果を参考に、研修を実施。	

イ 校内研修<令和6年度>

研修の目的	研修内容及び成果	課題
「ICT活用を継続し理解を深める」 昨年度の研修により、授業におけるICT活用は徐々に進んでいる。一方で、ICTの活用には慣熟度に個人差があるが、学習指導要領の趣旨を踏まえ、その利点を活かした授業展開や成績処理に取り組む。	5月 今年度の研修テーマについて確認。	ICT機器の活用に慣れた教員は、的確な操作を行い、授業展開もそれに相応しくなっている。また、デジタル採点システムを活用する教員も増加している。一方、ICTに対する苦手意識をもつ教員も一定数存在するため、サポート体制の構築が求められる。
	6月 授業見学週間(前期)	
	7月 ICT活用に関する研修会(各教科) 教科「農業」では、専門技術に関する研修会を実施した。	
	10月 定期訪問ではICTを活用した研究授業(外国語・農業)を実施した。全体研修会では、各教科よりICT活用の事例報告を実施した。 また、ICT及び全体研修会に関するアンケート(記述)を実施した。	
	11月 授業見学週間(後期)	
	12月 生徒による授業評価	
	1月 ICT活用に関するアンケートを実施した。	
	2月 ICT活用に関するまとめ	

6 防災対策について

<令和5年度>

目 標	取組内容及び成果	課 題
<p>ア 訓練を通じて避難経路の確認と防災に関する意識を高める。</p> <p>イ 整然とした団体行動をとらせ、敏速に人員把握ができる態勢を確立する。</p>	<p>訓練実施状況</p> <p>第1回4月12日(水) 駿河湾から遠州灘を震源域とするマグニチュード8の地震。全県下、震度6弱以上の揺れを想定。震度6弱以上の地震を想定し、グラウンド避難を実施した。年度初めに避難経路を確認するとともに、緊急時の行動について理解することができた。</p> <p>第2回9月1日(金) 第1回同様の設定で避難訓練を実施。避難経路の確認に加え、防災頭巾の着用等避難時の注意事項の確認を行った。</p> <p>第3回12月19日(火) 平常の授業時における地震発生を想定した避難訓練を行い、様々な場所からの避難経路の確認を行った。加えて、教職員の安否確認体制の確認を実施した。</p>	<p>実際に避難行動をとることにより避難経路の確認ができた。休憩時間や部活動中など学校生活における様々な場面での災害発生に備え、より実態の即した防災訓練を実施していくことが必要である。</p>

<令和6年度>

目 標	取組内容及び成果	課 題
<p>ア 訓練を通じて避難経路の確認と防災に関する意識を高める。</p> <p>イ 整然とした団体行動をとらせ、敏速に人員把握ができる態勢を確立する。</p> <p>ウ 講話を通して防災意識を高揚させ、震災に対応できる力を養う。</p>	<p>訓練等実施状況</p> <p>第1回4月12日(金) 駿河湾から遠州灘を震源域とするマグニチュード8の地震。全県下、震度6弱以上の揺れを想定し、グラウンド避難を実施した。年度初めに避難経路を確認するとともに、混雑が予想される階段の移動について確認した。 前日の4月11日に生徒支部会(地区会)を行い、緊急時の帰宅方法・学校への滞留の有無を確認</p> <p>第2回8月29日(木) 駿河湾から遠州灘を震源域とするマグニチュード8の地震。全県下、震度6弱以上の揺れを想定し、グラウンド避難を実施した。農業高校であり、校舎以外の場所で実習を行っていることも多いため、より実情に近い形での避難訓練を行った。</p> <p>第3回12月17日(火) 自衛隊静岡地方協本部より講師を招いて防災講話を実施。避難訓練時の注意、震災への対応、実際の救助活動(東日本大震災・石川県能登半島地震など)についてお話を伺った。</p>	<p>実際に避難行動をとることにより避難経路の確認ができた。また、防災講話を通して防災意識の高揚に結び付いた。訓練に関しては、形式的になりつつあるため、実施にあたり工夫が必要。</p>

## 7 学校開放について

### (1) 施設の開放状況

施設名	年度	利 用 団体数	利用回数	利用人数 (延人数)	実施種目	利用者負担金 (電気料)
体育館	4	2	140	1,029	バレーボール バドミントン	30,069
	5	2	118	1,017	バレーボール バドミントン	22,557

### (2) バラ園の一般公開

本校のバラ園は、1996年(平成8年度)に創立100周年を記念して造られた。例年5月と11月に地域の方々に公開し、多くの市民に来校し喜んでいただいている。一昨年よりコロナ禍前の通常通りの形態で一般公開を実施し、人出も通常の状態に戻ってきており、多くの市民の方に楽しんでいただいている。

### (3) みかん園を利用した生涯学習の推進

例年、生産流通科の科目「果樹」の授業で、近隣の幼稚園児・保育園児を招き、本校みかん園においてみかんの収穫体験を実施し、生徒・教員が園児らの農業体験支援をしている。

一昨年度からは、従来の規模で実施し、近隣の幼児たちに農業体験の機会を提供することができている。

### (4) 中学生学校説明会(1日体験入学)・オープンスクール

年 度	実施日	参加者数			
		生徒数	教員数	保護者数	合計
5	8.2(水)	664	0	263	927
	10.14(土)	285	0	126	411
	計	949	0	389	1,338
6	8.2(金)	709	0	311	1020
	11.16(土)	286	0	135	421
	計	995	0	446	1,441

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第57条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 学校保健安全法施行規則 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 学校図書館法（第3条、第4条） 食品衛生法（第52条） 「食肉製品製造業 菓子製造業 みそ製造業」 独立行政法人日本スポ - ツ振興センタ - 法（第16条、第17条） 静岡県立学校管理規則 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県教育委員会処務規程 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要領 いじめ防止対策推進法 静岡県補助金等交付規則

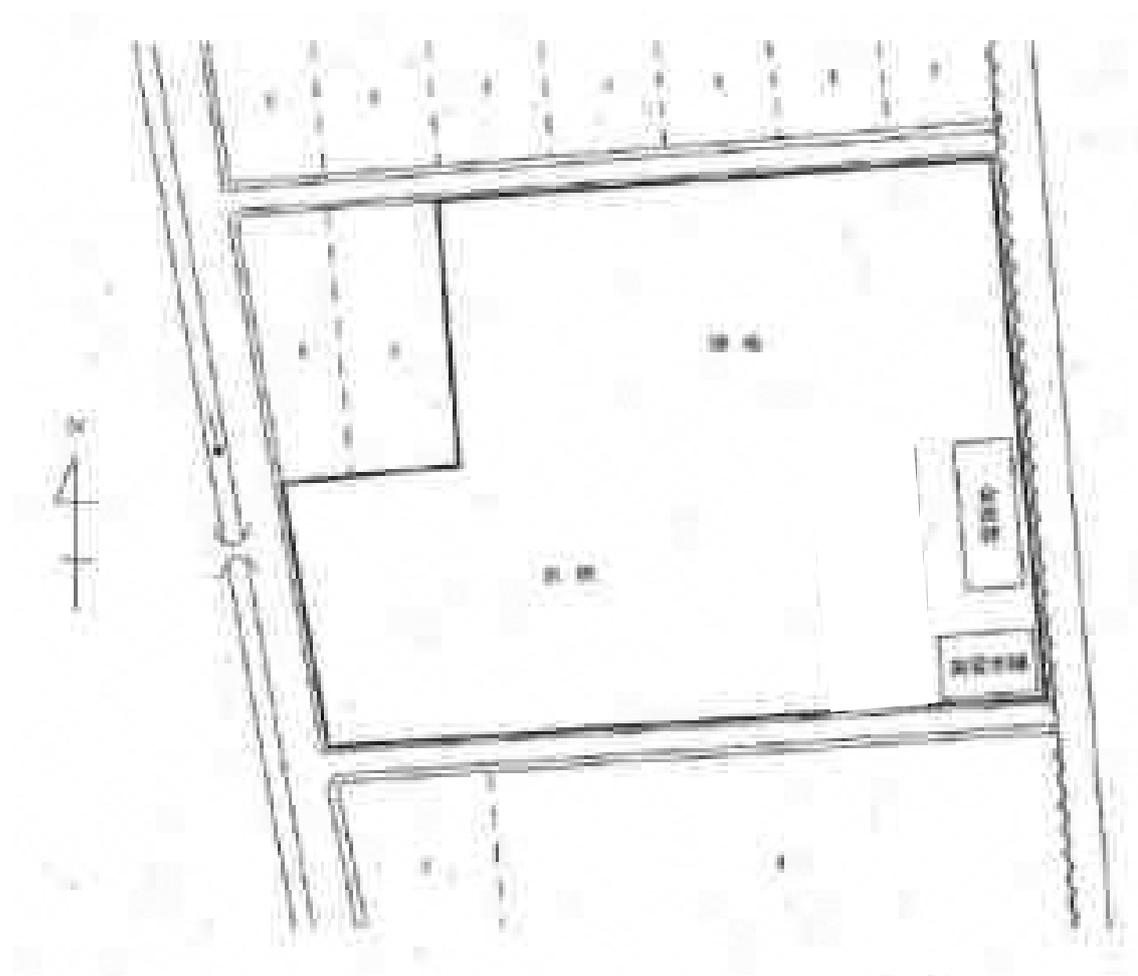
# 学 校 施 設 の 概 要

## 1 面積及び所有区分

(令和7年2月28日現在)

区 分	面 積	所 有 内 訳					摘 要
		県 有	国 有	市町村有	後援会有	民 有	
学 校 敷 地	m <sup>2</sup> 47,889.71	m <sup>2</sup> 47,838.26	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 51.45	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
内 訳	校 舎 敷 地	33,759.71	33,708.26		51.45		
	運 動 場 敷 地	12,705.00	12,705.00				
	その他の敷地	1,425.00	1,425.00				
実 習 地	28,901.09	28,893.09		8.00			
内 訳	田	6,686.01	6,686.01				原 野
	畑	22,207.08	22,207.08				"
	その他の敷地	8.00			8.00		河 川
演 習 林	515,355.34					515,355.34	
校 舎	建 5,950.60	5,660.67			289.93		部室 3 棟
	延 12,898.08	12,435.35			462.73		
体 育 館	建 2,654.32	2,654.32					
	延 2,862.39	2,862.39					
武 道 場	建 564.00	564.00					
	延 564.00	564.00					
そ の 他 の 建 物	建 592.13	592.13					
	延 592.13	592.13					
寄 宿 舎	建 372.27	372.27					
	延 578.66	578.66					
プ ー ル	1,150.00	1,150.00					25m 7コース 50m 7コース
職 員 住 宅	戸 12	戸 12					

## 一言農場配置図



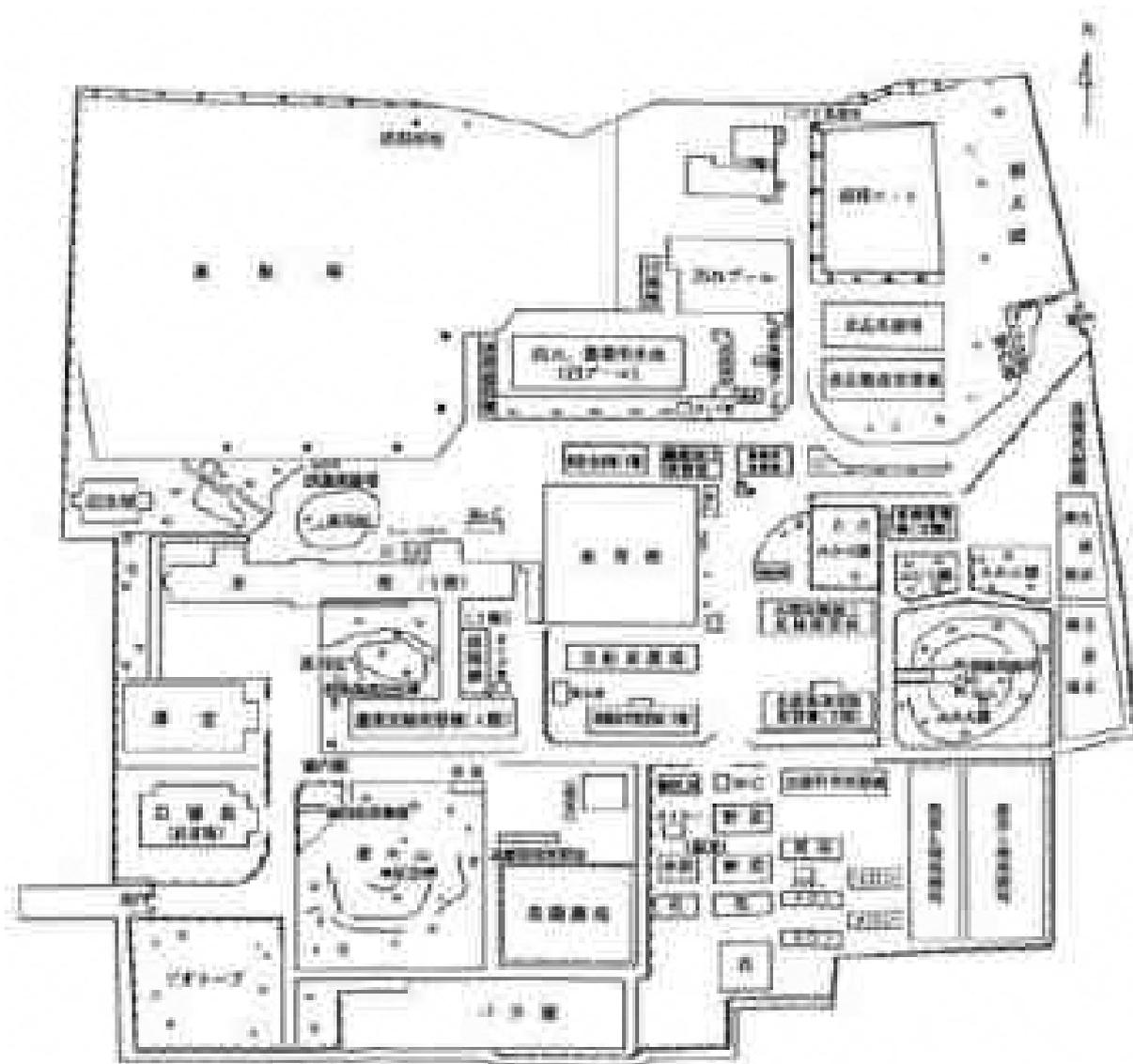
### (2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	47,889.71 m <sup>2</sup>	12,898.08 m <sup>2</sup>	12,705.00 m <sup>2</sup>
県 平 均	45,574.48 m <sup>2</sup>	9,807.98 m <sup>2</sup>	22,506.84 m <sup>2</sup>

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図

#### 本校配置図



在籍生徒調

(令和7年2月28日現在)

学年	学科別 区分	生産科学科				生産流通科				環境科学科				食品科学科				生活科学科				(合計)			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	40	17	24	41	40	24	17	41	40	33	8	41	40	11	30	41	40	9	32	41	200	94	111	205
	増加						(1)		(1)														(1)		(1)
	減少						1		1														1		1
	現在		17	24	41		24	17	41		33	8	41		11	30	41		9	32	41		94	111	205
2年	入学者	40	18	23	41	40	14	26	40	40	25	15	40	40	7	34	41	40	3	37	40	200	67	135	202
	増加																								
	減少						(1)	1	1(1)														(1)	1	1(1)
	2年時当初		18	23	41		13	25	38		25	15	40		7	34	41		3	37	40		66	134	200
	増加																								
	減少											1	1											1	1
現在		18	23	41		13	25	38		25	14	39		7	34	41		3	37	40		66	133	199	
3年	入学者	40	17	24	41	40	14	27	41	40	28	13	41	40	12	29	41	40	4	37	41	200	75	130	205
	増加																								
	減少							2	2						3		3						3	2	5
	2年時当初		17	24	41		14	25	39		28	13	41		9	29	38		4	37	41		72	128	200
	増加																								
	減少		1	3	4			1	1			2	2							1	1		1	7	8
	3年時当初		16	21	37		14	24	38		28	11	39		9	29	38		4	36	40		71	121	192
	増加																								
減少			1	1			1	1															2	2	
現在		16	20	36		14	23	37		28	11	39		9	29	38		4	36	40		71	119	190	
合計		120	51	67	118	120	51	65	116	120	86	33	119	120	27	93	120	120	16	105	121	600	231	363	594



# 入 学 志 願 者 及 び 入 学

区 分 学 科 別	令和3年度				令和4年度								
	生産系	環境系	食品系	合計	生産科学科	生産流通科	環境科学科	食品科学科	生活科学科	合計	生産科学科	生産流通科	
生徒定員(A)	80	40	80	200	40	40	40	40	40	200	40	40	
募集者数(B)	80	40	80	200	40	40	40	40	40	200	40	40	
志願者数	男	34	35	13	82	17	18	29	10	9	83	21	14
	女	46	6	65	117	30	32	10	31	49	152	27	25
	計(C)	80	41	78	199	47	50	39	41	58	235	48	39
受検者数	男	34	35	13	82	17	18	29	10	9	83	21	14
	女	46	6	65	117	30	32	10	31	49	152	27	25
	計(D)	80	41	78	199	47	50	39	41	58	235	48	39
合格者数	男	33	35	13	81	17	14	28	12	4	75	18	14
	女	45	6	65	116	24	27	13	29	37	130	23	26
	計(E)	78	41	78	197	41	41	41	41	41	205	41	40
志願倍率(C)/(B)	1.00	1.03	0.98	1.00	1.18	1.25	0.98	1.03	1.45	1.18	1.20	0.98	
受検倍率(D)/(B)	1.00	1.03	0.98	1.00	1.18	1.25	0.98	1.03	1.45	1.18	1.20	0.98	
入学者数	男	33	35	13	81	17	14	28	12	4	75	18	14
	女	45	6	65	116	24	27	13	29	37	130	23	26
	計(F)	78	41	78	197	41	41	41	41	41	205	41	40
充足率(F)/(A)	0.98	1.03	0.98	0.99	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.00	

# 者 数 調

令和5年度				令和6年度						令和7年度					
環境科学科	食品科学科	生活科学科	合計	生産科学科	生産流通科	環境科学科	食品科学科	生活科学科	合計	生産科学科	生産流通科	環境科学科	食品科学科	生活科学科	合計
40	40	40	200	40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200
40	40	40	200	40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200
23	8	3	69	18	25	40	11	13	107	21	31	34	11	13	110
13	34	38	137	22	16	8	27	54	127	10	19	10	41	42	122
36	42	41	206	40	41	48	38	67	234	31	50	44	52	55	232
23	7	3	68	18	25	40	11	13	107	21	31	34	11	12	109
13	34	38	137	22	16	8	27	54	127	10	19	10	40	42	121
36	41	41	205	40	41	48	38	67	234	31	50	44	51	54	230
25	7	3	67	17	24	33	11	9	94	22	29	31	11	8	101
15	34	37	135	24	17	8	30	32	111	19	12	10	30	33	104
40	41	40	202	41	41	41	41	41	205	41	41	41	41	41	205
0.90	1.05	1.03	1.03	1.00	1.03	1.20	0.95	1.68	1.17	0.78	1.25	1.10	1.30	1.38	1.16
0.90	1.03	1.03	1.03	1.00	1.03	1.20	0.95	1.68	1.17	0.78	1.25	1.10	1.28	1.35	1.15
25	7	3	67	17	24	33	11	9	94	22	29	31	11	8	101
15	34	37	135	24	17	8	30	32	111	19	12	10	30	33	104
40	41	40	202	41	41	41	41	41	205	41	41	41	41	41	205
1.00	1.03	1.00	1.01	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03

## 卒 業 生 の

### 1 進路状況

学 科 別	生産科学科			生産流通科			環境科学科			
	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
年 度	40	35	36	39	39	37	36	40	39	
卒 業 生 徒 数	40	35	36	39	39	37	36	40	39	
内 訳	(進学志願者)	24	19	18	19	19	22	15	15	19
	進学 大学・短大	16	7	11	8	12	14	10	9	9
	進学 専修・各種学校等	8	12	7	10	7	8	5	6	10
	進学 小計	24	19	18	18	19	22	15	15	19
	就職 職者	16	15	17	20	20	15	20	24	20
	就職 営業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進学 準備者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	1	0	0	1	1	0	
合 計	40	35	36	39	39	37	36	40	39	

### 2 求人状況

区 分	4年度	5年度	6年度
就 職 希 望 者 数	77	85	91
求 人 数	355	379	379
求 人 倍 率	4.6	4.5	4.2

## 動 向 調

食品科学科			生活科学科			(計)		
4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
38	35	38	37	38	40	190	187	190
29	25	15	24	22	25	111	100	99
10	10	8	5	4	11	49	42	53
19	15	7	19	18	14	61	58	46
29	25	15	24	22	25	110	100	99
9	10	23	12	16	15	77	85	90
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	3	2	1
38	35	38	37	38	40	190	187	190

### 3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別		生産 科学科	生産 流通科	環境 科学科	食品 科学科	生活 科学科	(計)
卒 業 生 徒 数		36	37	39	38	40	190
危険物取扱者	丙種	28	0	0	16	12	56
	乙4	0	0	0	1	0	1
小型車両系建設機械		0	0	7	0	0	7
レタリング技能検定	3級	0	0	32	0	0	32
日検日本語ワープロ検定	2級	0	0	1	2	0	3
	準2級	0	18	3	15	3	39
	3級	0	12	0	20	0	32
全商情報処理検定	3級	5	38	33	37	40	153
日本漢字能力検定	2級	0	0	0	2	1	3
	準2級	0	0	0	1	2	3
	3級	0	1	2	3	3	9
実用英語技能検定	2級	0	0	1	0	0	1
	準2級	0	2	0	0	0	2
	3級	1	1	0	0	2	4
家庭科食物調理技術検定	2級	0	0	0	0	37	37
	3級	0	0	0	0	40	40
	4級	0	0	0	0	40	40
日本農業技術検定	2級	2	0	0	0	0	2
合 計		36	72	79	97	180	464



# 生 徒 の 状 況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

### (1) 出身地

(令和7年2月28日現在) (単位:人)

市町村名	磐田市	袋井市	浜松市	森町	掛川市	湖西市	その他	合計
生徒数	297	143	45	22	59	18	10	594
構成比%	50.0	24.1	7.6	3.7	9.9	3.0	1.7	100

### (2) 通学方法

(令和7年2月28日現在) (単位:人)

区分	自転車	バス	電車	徒歩	バス・電車	合計
生徒数	284	36	202	30	42	594
構成比%	47.8	6.1	34.0	5.0	7.1	100

## 2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年2月28日現在) (単位:人)

区分	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数	12	10		22
男子	1年	64	30	94
	2年	46	20	66
	3年	60	11	71
	計(A)	170	61	231
	構成比	73.6	26.4	
女子	1年	35	76	111
	2年	40	93	133
	3年	43	76	119
	計(B)	118	245	363
	構成比	32.5	67.5	
合計	(A+B)	288	306	594
	構成比	48.5	51.5	

( 全日制 )

授業料収納状況調

( 令和 5 年度 )

期 別	月	調 定 の 状 況										収納の状況			異動者等の状況	
		1 年		2 年		3 年		4 年		計		納期内収納額 円	納期後 収納額 円	収 入 未 済 額 円		
		人 員	調 定 額 円	人 員	調 定 額 円	人 員	調 定 額 円	人 員	調 定 額 円	人 員	調 定 額 円					収 納 率 %
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 2,316,600円 1年23人×9,900円×3ヶ月 = 683,100円 2年22人×9,900円×3ヶ月 = 653,400円 3年33人×9,900円×3ヶ月 = 980,100円  B . 収納権利増減 ( ) 額 = 0円  C . 収納必要額 A ( ± ) B = 2,316,600円	
	5															
	6															
	7	23	683,100	22	653,400	33	980,100			78	2,316,600	2,227,500	96.1	89,100		0
	計	23	683,100	22	653,400	33	980,100			78	2,316,600	2,227,500	96.1	89,100		0
二 期	7														A . 期首収納権利発生額 = 4,356,000円 1年30人×9,900円×5ヶ月 = 1,485,000円 2年26人×9,900円×5ヶ月 = 1,287,000円 3年32人×9,900円×5ヶ月 = 1,584,000円  B . 収納権利増減 ( ) 額 = 89,100円 < 内訳 > 7月25日 : 2年転学 1人×9,900円×4ヵ月 = 39,600円 11月8日 : 3年遡及認定者 1人×9,900円×5ヵ月 = 49,500円  C . 収納必要額 A ( ± ) B = 4,266,900円	
	8			1	9,900					1	9,900	9,900	100	0		0
	9															
	10	30	1,485,000	25	1,237,500	32	1,584,000			87	4,306,500	4,207,500	97.7	99,000		0
	11					1	49,500			1	49,500	49,500				
	計	30	1,485,000	26	1,247,400	31	1,534,500			87	4,266,900	4,167,900	97.6	99,000		0
三 期	12														A . 期首収納権利発生額 = 3,405,600円 1年30人×9,900円×4ヶ月 = 1,188,000円 2年25人×9,900円×4ヶ月 = 990,000円 3年31人×9,900円×4ヶ月 = 1,227,600円  B . 収納権利増減 ( ) 額 = 0円 < 内訳 >  C . 収納必要額 A ( ± ) B = 3,405,600円	
	1	30	1,188,000	25	990,000	31	1,227,600			86	3,405,600	3,405,600	100	0		0
	2															
	3															
	計	30	1,188,000	25	990,000	31	1,227,600			86	3,405,600	3,405,600	100	0		0
合計		83	3,356,100	73	2,890,800	95	3,742,200			251	9,989,100	9,801,000	98.1	188,100	0	D 収納必要額 = 9,989,100円

( 全 日 制 )

授 業 料 収 納 状 況 調

( 令 和 6 年 度 )

( 令 和 7 年 2 月 28 日 現 在 )

期 月 別	調 定 の 状 況										収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況	
	1 年		2 年		3 年		4 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額		
	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額		収 納 率				
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A . 期 首 収 納 権 利 発 生 額 = 2,465,100円 1年29人×9,900円×3ヶ月 = 861,300円 2年30人×9,900円×3ヶ月 = 891,000円 3年24人×9,900円×3ヶ月 = 712,800円  B . 収 納 権 利 増 減 ( ) 額 = 0円  C . 収 納 必 要 額 A ( ± ) B = 2,465,100円
	5															
	6															
	7	29	861,300	30	891,000	24	712,800			83	2,465,100	2,376,000	96.3	89,100	0	
	計	29	861,300	30	891,000	24	712,800			83	2,465,100	2,376,000	96.3	89,100	0	
二 期	7															A . 期 首 収 納 権 利 発 生 額 = 4,356,000円 1年31人×9,900円×5ヶ月 = 1,534,500円 2年30人×9,900円×5ヶ月 = 1,485,000円 3年27人×9,900円×5ヶ月 = 1,336,500円  B . 収 納 権 利 増 減 ( ) 額 = 0円  C . 収 納 必 要 額 A ( ± ) B = 4,356,000円
	8															
	9															
	10	31	1,534,500	30	1,485,000	27	1,336,500			88	4,356,000	4,108,500	94.3	247,500	0	
	11															
	計	31	1,534,500	30	1,485,000	27	1,336,500			88	4,356,000	4,108,500	94.3	247,500	0	
三 期	12															A . 期 首 収 納 権 利 発 生 額 = 3,484,800円 1年31人×9,900円×4ヶ月 = 1,227,600円 2年30人×9,900円×4ヶ月 = 1,188,000円 3年27人×9,900円×4ヶ月 = 1,069,200円  B . 収 納 権 利 増 減 ( ) 額 = 0円  C . 収 納 必 要 額 A ( ± ) B = 3,484,800円
	1	31	1,227,600	30	1,188,000	27	1,069,200			88	3,484,800	3,405,600	97.7	79,200	0	
	2															
	3															
	計	31	1,227,600	30	1,188,000	27	1,069,200			88	3,484,800	3,405,600	97.7	79,200	0	
合 計	91	3,623,400	90	3,564,000	78	3,118,500			259	10,305,900	9,890,100	95.9	415,800	0	D 収 納 必 要 額 = 10,305,900円	

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和 7 年 2 月 28 日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	235	174

保管現金有高調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

現金保管者	区分	金額(円)
静岡県立磐田農業高等学校 事務長	つり銭用資金	20,000

預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行磐田支店	無利息型 普通預金		静岡県立磐田農業高等学校 資金前渡者 校長 望月久資	0	給与
静岡銀行磐田支店	無利息型 普通預金		自振口 静岡県立磐田農業高等学校 資金前渡者 校長 望月久資	0	公共料金 (口座振替)
静岡銀行県庁支店	無利息型 普通預金		静岡県磐田農業高等学校つり銭口 静岡県会計管理者 芹澤 真一	0	つり銭用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年2月28日現在)  
(単位:枚、円)

区分	種類	令和5年度						令和6年度						差引現在高	摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	1円券	9	9	0	0	7	7	2	2	0	0	0	0	2	2	通信連絡用
	10円券	1	10	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	1	10	
	50円券	12	600	0	0	1	50	11	550	0	0	0	0	11	550	
	63円券	4	252	0	0	1	63	3	189	0	0	0	0	3	189	
	84円券	5	420	0	0	4	336	1	84	0	0	0	0	1	84	
計	100円券	10	1,000	0	0	0	0	10	1,000	0	0	0	0	10	1,000	
			2,291		0		456		1,835		0		0		1,835	

材 料

品名	区分	令和5年度					
		繰 越		受 入		払 出	
		数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額
クエン酸(500g)		0 本	0 円	6 本	7,646 円	6 本	7,646 円
水飴(25kg)		0 缶	0 円	3 缶	13,770 円	3 缶	13,770 円
上白糖		0 kg	0 円	250 kg	59,399 円	250 kg	59,399 円
ジャム瓶		0 個	0 円	1,440 個	76,751 円	1,440 個	76,751 円
キャップ		0 個	0 円	2,206 個	40,623 円	1,500 個	27,622 円
キャップシール		180 枚	1,352 円	1,440 枚	12,672 円	1,480 枚	12,802 円
イチゴ		0 kg	0 円	500 kg	60,000 円	500 kg	60,000 円
ステッカー(いちごジャム)		0 枚	0 円	1,500 枚	39,600 円	1,500 枚	39,600 円
デリネット		10 巻	33,660 円	0 巻	0 円	7 巻	23,562 円
味の素		0 kg	0 円	3 kg	4,471 円	3 kg	4,471 円
白胡椒		0 kg	0 円	2 kg	3,628 円	2 kg	3,628 円
食塩		0 kg	0 円	81 kg	9,169 円	81 kg	9,169 円
NA - MIX - DX		0 kg	0 円	20 kg	20,304 円	20 kg	20,304 円
Aアジ酵母M		0 kg	0 円	10 kg	20,520 円	10 kg	20,520 円
真空袋		0 枚	0 円	2,100 枚	41,580 円	2,000 枚	39,600 円
豚バラ肉		0 kg	0 円	214.8 kg	296,938 円	214.8 kg	296,938 円
豚背ロース肉		0 kg	0 円	539.2 kg	570,685 円	539.2 kg	570,685 円
DCP #15		0 kg	0 円	20 kg	9,072 円	20 kg	9,072 円
ステッカー(澄水)		0 枚	0 円	2,000 枚	27,720 円	850 枚	11,781 円
ステッカー(ラクウショウ)		0 枚	0 円	2,000 枚	41,800 円	1,050 枚	21,945 円
タイトケース 本体		26 枚	621 円	700 枚	17,941 円	626 枚	15,999 円
タイトケース フタ		28 枚	487 円	700 枚	11,550 円	628 枚	10,387 円
セパラットS		260 枚	4,719 円	0 枚	0 円	130 枚	2,360 円
白米		0 kg	0 円	180 kg	58,320 円	180 kg	58,320 円
大豆		0 kg	0 円	120 kg	42,768 円	120 kg	42,768 円
こうじ菌		0 g	0 円	490 g	12,852 円	490 g	12,852 円
スモークチップ		0 kg	0 円	15 kg	6,050 円	5 kg	2,017 円
強力粉		0 kg	0 円	0 kg	0 円	0 kg	0 円
イースト		0 kg	0 円	0 kg	0 円	0 kg	0 円
マーガリン		0 kg	0 円	0 kg	0 円	0 kg	0 円
グラニュー糖		0 kg	0 円	0 kg	0 円	0 kg	0 円
卵		0 個	0 円	0 個	0 円	0 個	0 円
こしあん		0 kg	0 円	0 kg	0 円	0 kg	0 円
メロンビス		0 枚	0 円	0 枚	0 円	0 枚	0 円
パン袋		0 枚	0 円	0 枚	0 円	0 枚	0 円
ラベル		0 枚	0 円	0 枚	0 円	0 枚	0 円
食品表示用ラベル		0 枚	0 円	0 枚	0 円	0 枚	0 円
計			40,839 円		1,505,829 円		1,473,968 円

品 受 払 調

(令和7年2月28日現在)

令和6年度								摘要
繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	
0 本	0 円	8 本	10,195 円	8 本	10,195 円	0 本	0 円	
0 缶	0 円	5 缶	23,220 円	5 缶	23,220 円	0 缶	0 円	
0 kg	0 円	343 kg	89,487 円	343 kg	89,487 円	0 kg	0 円	
0 個	0 円	2,016 個	107,115 円	2,016 個	107,115 円	0 個	0 円	
706 個	13,001 円	2,200 個	41,668 円	2,118 個	39,744 円	788 個	14,925 円	
140 枚	1,222 円	2,160 枚	19,008 円	2,123 枚	18,673 円	177 枚	1,557 円	
0 kg	0 円	730 kg	109,500 円	730 kg	109,500 円	0 kg	0 円	
0 枚	0 円	2,500 枚	48,750 円	2,500 枚	48,750 円	0 枚	0 円	
3 巻	10,098 円	20 巻	67,320 円	6 巻	20,196 円	17 巻	57,222 円	
0 kg	0 円	2 kg	2,981 円	2 kg	2,981 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	2 kg	7,560 円	2 kg	7,560 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	80.5 kg	9,775 円	80.5 kg	9,775 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	20 kg	20,304 円	20 kg	20,304 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	10 kg	20,520 円	10 kg	20,520 円	0 kg	0 円	
100 枚	1,980 円	2,000 枚	39,600 円	1,700 枚	33,660 円	400 枚	7,920 円	
0 kg	0 円	128.7 kg	173,745 円	128.7 kg	173,745 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	380.2 kg	402,402 円	380.2 kg	402,402 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	20 kg	9,072 円	20 kg	9,072 円	0 kg	0 円	
1,150 枚	15,939 円	0 枚	0 円	950 枚	13,167 円	200 枚	2,772 円	
950 枚	19,855 円	0 枚	0 円	950 枚	19,855 円	0 枚	0 円	
100 枚	2,563 円	700 枚	17,941 円	590 枚	15,121 円	210 枚	5,383 円	
100 枚	1,650 円	700 枚	11,550 円	590 枚	9,735 円	210 枚	3,465 円	
130 枚	2,359 円	0 枚	0 円	130 枚	2,359 円	0 枚	0 円	
0 kg	0 円	180 kg	92,340 円	180 kg	92,340 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	120 kg	28,080 円	120 kg	28,080 円	0 kg	0 円	
0 g	0 円	490 g	12,852 円	490 g	12,852 円	0 g	0 円	
10 kg	4,033 円	0 kg	0 円	5 kg	2,016 円	5 kg	2,017 円	
0 kg	0 円	25 kg	6,416 円	25 kg	6,416 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	2.5 kg	2,052 円	2.5 kg	2,052 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	5 kg	5,712 円	5 kg	5,712 円	0 kg	0 円	
0 kg	0 円	5 kg	2,017 円	5 kg	2,017 円	0 kg	0 円	
0 個	0 円	100 個	2,139 円	100 個	2,139 円	0 個	0 円	
0 kg	0 円	28 kg	18,057 円	28 kg	18,057 円	0 kg	0 円	
0 枚	0 円	480 枚	15,940 円	480 枚	15,940 円	0 枚	0 円	
0 枚	0 円	1,000 枚	1,994 円	1,000 枚	1,994 円	0 枚	0 円	
0 枚	0 円	1,430 枚	862 円	1,000 枚	601 円	430 枚	261 円	
0 枚	0 円	40 枚	1,474 円	40 枚	1,474 円	0 枚	0 円	
	72,700 円		1,421,648 円		1,398,826 円		95,522 円	



委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					4年度	5年度	左のうち、4年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,077,800	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		6,453,100	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,710,500	
計					11,662,530	11,241,400	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		5,643,000	
計					4,477,000	5,643,000	0
(16)公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,212,200	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		269,500	
計					308,000	1,481,700	0
(18)負担金、補助金及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		59,827,710	
計					60,894,210	59,827,710	0
(21)補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	3,130,046	0
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	2,633,031	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	421,300	0
計					6,184,377	0
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	572,143	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	299,200	0
計					871,343	0
(18)負担金、補助金及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	60,602,860	0
計					60,602,860	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

令和5年度

整理番号	業務名	委託者	当設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支年月日	金額	委託業務内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立磐田高等学校 農外消防用設備 保守点検業務	静岡県消防設備 保守点検協同組合	9,525,780	8,850,600	0	8,850,600	一般	5.4.1 } 6.3.31	5.11.30	5,188,700	自動火災 報知設備 点検業務	袋井高校、袋井商業高 校、磐田南高校、磐田 北高校、磐田西高校、 袋井特別支援学校、袋 井特別支援学校磐田 見付分校、浜松特別支 援学校磐田分校
									6.4.25	3,661,900		
									小計	8,850,600		
2	排水分析 業務	(一社)静岡県 産業環境セ ンター	212,080	207,900	0	207,900	随契	5.4.19 } 6.3.29	5.9.29	154,110	排水分析 業務	随契1号 (少額)
									6.3.29	53,790		
									小計	207,900		
3	廃棄物収集運搬 処分業務	株 環 吉	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	0	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	随契	5.4.18 } 5.9.29	5.10.31	303,600	廃棄物収集 運搬処分 業務	単価契約 随契1号 (少額)
			単価(処分) 39,600 (1箱あたり)	単価(処分) 31,350 (1箱あたり)		単価(処分) 31,350 (1箱あたり)						
									小計	303,600		
4	公用車メンテ ナンス業務	東海自動車 整備(株)	788,320	772,920	0	772,920	随契	5.4.18 } 6.3.29	5.10.31	119,150	公用車メンテ ナンス業務	随契1号 (少額)
									6.4.30	653,770		
									小計	772,920		
5	廃棄物収集運搬 処分業務	株 環 吉	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	0	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり)	随契	5.10.4 } 6.3.29	6.4.15	406,560	廃棄物収集 運搬処分 業務	単価契約 随契1号 (少額)
			単価(処分) 39,600 (1箱あたり)	単価(処分) 30,360 (1箱あたり)		単価(処分) 30,360 (1箱あたり)						
									小計	406,560		
6	雑排水槽汚泥引 抜及び運搬処分業務	東名興産(株)	単価(収集運搬) 132,000 (1回あたり)	単価(収集運搬) 132,000 (1回あたり)	0	単価(収集運搬) 132,000 (1回あたり)	随契	6.2.5 } 6.3.22	6.3.29	448,470	雑排水槽汚泥引 抜及び運搬処分 業務	単価契約 随契1号 (少額)
			単価(処分) 33 (1kgあたり)	単価(処分) 33 (1kgあたり)		単価(処分) 33 (1kgあたり)						
									小計	448,470		
7	測量機器 点検業務	株村上測機	169,510	151,580	0	151,580	随契	6.2.6 } 6.3.28	6.4.10	151,580	測量機器 点検業務	随契1号 (少額)
									小計	151,580		
8	廃液収集運搬 処分業務	(株)大洋 サービス	99,770	99,770	0	99,770	随契	6.2.21 } 6.3.29	6.3.22	99,770	廃液収集運 搬処分業務	随契1号 (少額)
									小計	99,770		
事務関係計		8件								11,241,400		
合計		8件								11,241,400		
参考1	自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシスト(株)		1,396,560	0	1,396,560		5.4.1 } 6.3.31			自家用電気 工作物保安 管理業務	磐田北高校
参考2	プール浄化 装置保守 点検業務	(有)山静商会		429,000	0	429,000		5.4.12 } 5.11.30			プール浄化 装置保守 点検業務	磐田西高校
参考3	防鼠・防 虫業務	(株)帝装化 成掛川営 業所		530,200	0	530,200		5.4.6 } 6.3.31			ねずみ ゴキブリ 防除業務	袋井高校
参考4	警備業務	綜合警備保障 株静岡支社		17,166,600	0	17,166,600		1.10.1 } 6.9.30			警報機器による 警備業務	磐田南高校
参考5	磐田袋井地区 立学校建築 基準法第12 条に基づく 定期点検 業務	(有)コーセイ産業		1,975,600	0	1,975,600		6.1.11 } 6.3.29			建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務	磐田北高校
計		5件										

委託料に関する調

令和6年度

(令和7年2月28日現在)

整理番号	業務委託名	受託者	契約金額				契約締結方法	契約期間	支月	出金日	金額	委託業務内容	摘要
			当設計金額	契約当初額	変更増減額	金額							
1	(事務関係) 静岡県立磐田農学校 消防設備点検業務	静岡県消防設備点検協同組合	9,962,480	9,251,000	28,793	9,279,793	一般	6.4.1 7.3.31	7.1.10	5,556,510	自動火災報知設備等点検業務	袋井高校、袋井商業高校、磐田南高校、磐田北高校、磐田西高校、袋井特別支援学校、袋井特別支援学校磐田見付分校、浜松特別支援学校磐田分校	
													小計
2	排水分析業務	(一社)静岡県産業環境センター	216,700	214,500	0	214,500	随契	6.4.17 7.3.31	6.9.27	158,400	排水分析業務	随契1号(少額)	
													小計
3	廃棄物収集運搬処分業務	(株)環吉	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり) 単価(処分) 39,600 (1箱あたり)	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり) 単価(処分) 29,700 (1箱あたり)	0	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり) 単価(処分) 29,700 (1箱あたり)	随契	6.4.10 6.9.30	6.10.25	254,100	廃棄物収集運搬処分業務	単価契約随契1号(少額)	
													小計
4	公用車メンテナンス業務	東海自動車整備(株)	651,830	633,130	0	633,130	随契	6.4.30 7.3.31	6.11.20	121,350	公用車メンテナンス業務	随契1号(少額)	
													小計
5	廃棄物収集運搬処分業務	(有)やまや伊藤商店	単価(収集運搬) 6,600 (1箱あたり) 単価(処分) 39,600 (1箱あたり) 単価(収集運搬) 3,300 (ガラ1㎡あたり) 単価(処分) 5,500 (ガラ1㎡あたり) 単価(収集運搬) 3,300 (がれき1㎡あたり) 単価(処分) 17,600 (がれき1㎡あたり)	単価(収集運搬) 7,700 (1箱あたり) 単価(処分) 27,500 (1箱あたり) 単価(収集運搬) 3,300 (ガラ1㎡あたり) 単価(処分) 6,600 (ガラ1㎡あたり) 単価(収集運搬) 5,500 (がれき1㎡あたり) 単価(処分) 14,300 (がれき1㎡あたり)	0	単価(収集運搬) 7,700 (1箱あたり) 単価(処分) 27,500 (1箱あたり) 単価(収集運搬) 3,300 (ガラ1㎡あたり) 単価(処分) 6,600 (ガラ1㎡あたり) 単価(収集運搬) 5,500 (がれき1㎡あたり) 単価(処分) 14,300 (がれき1㎡あたり)	随契	6.10.8 7.3.31		0	廃棄物収集運搬処分業務	単価契約随契1号(少額)	
													小計
6	雑排水槽汚泥引抜及び運搬処分業務	東名興産(株)	単価(収集運搬) 110,000 (1回あたり) 単価(処分) 33 (1kgあたり)	単価(収集運搬) 110,000 (1回あたり) 単価(処分) 33 (1kgあたり)	0	単価(収集運搬) 110,000 (1回あたり) 単価(処分) 33 (1kgあたり)	随契	7.2.5 7.3.28		0	雑排水槽汚泥引抜及び運搬処分業務	単価契約随契1号(少額)	
													小計
7	測量機器点検業務	(株)村上測機	165,110	146,740	0	146,740	随契	7.2.18 7.3.28		0	測量機器点検業務	随契1号(少額)	
													小計
8	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(有)コーセイ	3,696,000	3,063,390	0	3,063,390	一般	6.11.1 7.2.28		0	建築基準法第12条に基づく定期点検業務		
													小計
9	建築基準法第12条に基づく外壁全面打診調査業務	(有)コーセイ	5,162,960	1,100,000	335,982	764,018	一般	6.11.1 7.3.24		0	建築基準法第12条に基づく外壁全面打診調査業務		
													小計
10	産業廃棄物(蛍光管)収集運搬処分業務	(株)ホクセイ	単価(収集運搬) 19,800 (1回あたり) 単価(蛍光管処分) 308 (1kgあたり) 単価(水銀灯処分) 429 (1kgあたり)	単価(収集運搬) 19,800 (1回あたり) 単価(蛍光管処分) 308 (1kgあたり) 単価(水銀灯処分) 429 (1kgあたり)	0	単価(収集運搬) 19,800 (1回あたり) 単価(蛍光管処分) 308 (1kgあたり) 単価(水銀灯処分) 429 (1kgあたり)	随契	6.12.20 7.3.31	7.2.13	94,017	産業廃棄物(蛍光管)収集運搬処分業務	単価契約随契1号(少額)	
													小計
事務関係計			10件						6,184,377				
合計			10件						6,184,377				
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		1,535,600	78,100	1,457,500		6.4.1 7.3.31			自家用電気工作物保安管理業務	磐田北高校	
参考2	プール浄化装置保守点検業務	(有)山静商会		429,000	0	429,000		6.4.12 6.11.29			プール浄化装置保守点検業務	磐田西高校	
参考3	防鼠・防虫成業	(株)帝装化成 掛川営業所		539,000	0	539,000		6.4.5 7.3.31			ねずみゴキブリ防除業務	袋井高校	
参考4	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社		17,166,600	0	17,166,600		1.10.1 6.9.30			警報機器による警備業務	磐田南高校	
参考5	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社		13,602,600	0	13,602,600		6.10.1 11.9.30			警報機器による警備業務	磐田南高校	
計			5件										

# 負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	全国農業高等学校長協会総会・研究協議会大会参加費	全国農業高等学校長協会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	5.4.17
2	磐田地区安全運転管理協会会費	磐田地区安全運転管理協会	同会会則	交通安全運動の推進等	25,000	5.5.1
3	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	同開催要項	学校教育に関する調査研究等	2,000	5.5.1
4	全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議会参加費	全国高等学校教頭・副校長会	同開催要項	学校教育に関する調査研究等	8,000	5.6.9
5	全国農業高等学校長協会関東支部総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会関東支部	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,500	5.6.21
6	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,500	5.6.30
7	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会参加費	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	1,000	5.7.28
8	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第1期分512名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,206,400	振替日 5.7.31
9	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(4~6月分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 5.7.31
10	関東地区学校農業クラブ連盟大会東京大会参加費	関東地区学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	2,000	5.8.2
11	学校農業クラブ指導者講習会参加費	日本学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	5.8.7
12	安全運転管理者講習受講料	静岡県公安委員会	道路交通法	安全運転管理の推進等	4,500	5.8.9
13	全国農業高等学校長協会全国理事会・総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	5.10.16
14	日本学校農業クラブ全国大会熊本大会参加費	日本学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	25,000	5.10.16
15	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第2期分499名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,700,500	振替日 5.10.31
16	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(7~10月分1名分)(7~9月分1名分)(7月分2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	89,100	振替日 5.10.31
17	寺谷用水土地改良区賦課金	寺谷用水土地改良区	土地改良法 寺谷用水土地改良区総代会議案	賦課金	35,310	5.11.22
18	食品衛生責任者衛生管理講習会受講料	西部地区食品衛生協会連合会	同開催通知	食品衛生管理の推進等	2,000	5.12.18
19	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第3期分497名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,681,200	振替日 6.1.31
	計	19件			59,827,710	

# 負担金支出調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	全国農業高等学校長協会総会・研究協議会大会参加費	全国農業高等学校長協会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	6.4.19
2	磐田地区安全運転管理協会会費	磐田地区安全運転管理協会	同会会則	交通安全運動の推進等	25,000	6.4.25
3	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	同開催要項	学校教育に関する調査研究等	4,000	6.4.30
4	食品衛生責任者養成講習会受講料	一般社団法人浜松市食品衛生協会	同開催通知	食品衛生管理の推進等	11,000	6.5.10
5	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	同開催要項	特別管理産業廃棄物管理責任者資格取得	13,200	6.5.22
6	全国農業高等学校長協会関東支部総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会関東支部	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,500	6.6.28
7	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,500	6.6.28
8	農業クラブ指導者養成講座参加費	日本学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	6.7.3
9	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会参加費	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	1,000	6.7.26
10	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第1期分514名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,265,800	振替日 6.7.31
11	関東地区学校農業クラブ連盟大会参加費	関東地区学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	6,000	6.8.2
12	食品衛生協会協会費	西部地区食品衛生協会連合会	同開催通知	みそ営業許可申請	6,000	6.9.26
13	東海地区高等学校教頭・副校長会総会・研究協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会	同開催要項	学校教育に関する調査研究等	2,000	6.9.30
14	日本学校農業クラブ全国大会岩手大会参加費	日本学校農業クラブ連盟	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	20,000	6.10.9
15	全国農業高等学校長協会全国理事会・総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会	同開催要項	農業教育に関する調査研究等	3,000	6.10.9
16	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第2期分506名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	25,007,400	振替日 6.10.31
17	寺谷用土地利用改良区賦課金	寺谷用土地利用改良区	土地改良法 寺谷用土地利用改良区総代会議案	賦課金	35,310	6.11.21
18	食品衛生責任者衛生管理講習会受講料	西部地区食品衛生協会連合会	同開催通知	食品衛生管理の推進等	2,000	6.12.16
19	ボイラー実技講習会受講料	日本ボイラー協会	同案内通知	ボイラー技士免許取得	25,300	6.12.20
20	玉掛け・小型移動式クレーン運転技能講習受講料	キャタピラー教習所株式会社	同開催通知	玉掛け・小型移動式クレーン作業従事資格取得	67,400	6.12.20
21	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(7~11月分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	6.12.26
22	安全運転管理者講習受講料	静岡県安全運転管理協会	道路交通法	安全運転管理の推進等	4,500	7.1.10
23	高等学校等就学支援金	高等学校授業料(第3期分506名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,037,600	振替日 7.1.31
24	伐木等業務特別教育補講習受講料	林業業務防災防止協会静岡県支部	同開催通知	伐木等業務従事資格取得	3,850	7.1.20
	計	24件			60,602,860	

# 建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	静岡県立磐田農業高等学校井戸用揚水ポンプ取替工事	磐田市中泉 168	円 4,279,000	円 4,235,000	円 0
2	教育管理費	静岡県立磐田農業高等学校本館3階西側便所他ブース更新工事	磐田市中泉 168	1,573,000	1,408,000	0
		合計	2 件	5,852,000	5,643,000	0

# 事 調

(令和5年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 4,235,000	随契	内田鑿泉(株)	R5.8.23 ~ R6.1.31	円 4,235,000	井戸用揚水ポンプ1台取替	-	随契2号(不適) 令達年月日 R5.7.13 最終支払年月日 R6.2.29
1,408,000	随契	(株)兵藤	R6.2.6 ~ R6.3.29	1,408,000	便所ブース修繕 本館3階西側男子便所1か所 屋外男子、女子便所各1か所	-	随契1号(少額) 令達年月日 R6.1.23 最終支払年月日 R6.4.25
5,643,000				5,643,000			

# 建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	静岡県立磐田農業高等学校受水槽FMバルブ更新工事	磐田市中泉 168	539,000	539,000	0
2	教育管理費	静岡県立磐田農業高等学校本校校長室空調機更新工事	磐田市中泉 168	1,166,000	946,000	0
		合計	2件	1,705,000	1,485,000	0

参考

1	教育管理費	静岡県立磐田農業高等学校井水設備改修工事(1期)	磐田市中泉 地内	45,925,000	45,320,000	0
---	-------	--------------------------	-------------	------------	------------	---

# 事 調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
539,000	随契	(株)三和商会	R7.1.6 ~ R7.2.19	0	受水槽FMバルブ更新	-	随契1号(少額) 令達年月日 R6.12.9
946,000	随契	袋井設備(株)	R7.2.28 ~ R7.3.25	0	天井吊型空調機更新 1台 既設空調機撤去 1台	予	随契1号(少額) 令達年月日 R7.2.13
1,485,000				0			

45,320,000	指名	(株)永井設備商会	R6.9.12 ~ R7.2.28	18,120,000	ステンレス製井水受水槽 1基新設 井水加圧給水ポンプ 1台新設 井戸水中ポンプ 1台更新	予	交通基盤部 設備課
------------	----	-----------	-------------------------	------------	--	---	--------------

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区 分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 4,522,848		千円		千円		千円 4,521,341	
土地	76,731.35 m <sup>2</sup>	4,119,423					76,731.35 m <sup>2</sup>	4,119,423	
立木竹	61本	4,035	8	2,454			69本	6,489	
	33,383.00 m <sup>3</sup>	315,987					33,383.00 m <sup>3</sup>	315,987	演習林
建物	$\frac{9,843.39}{17,032.53}$ m <sup>2</sup>	58,972				6,667	$\frac{9,843.39}{17,032.53}$ m <sup>2</sup>	52,305	
工作物	160個	23,420	2	6,042	5	3,336	157個	26,126	
地上権等	515,355.34 m <sup>2</sup>	1,011					515,355.34 m <sup>2</sup>	1,011	演習林
普通財産		139,832						137,249	
土地	1,360.57 m <sup>2</sup>	104,200					1,360.57 m <sup>2</sup>	104,200	
建物	$\frac{326.15}{825.55}$ m <sup>2</sup>	35,632				2,583	$\frac{326.15}{825.55}$ m <sup>2</sup>	33,049	
工作物	7個	0					7個	0	
公有財産に準ずるもの		149						149	
電話加入権	7件	149					7件	149	

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)  
(令和7年2月28日現在)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年2月28日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 4,521,341	/	千円	/	千円	/	千円 4,563,988	
土 地	76,731.35 m <sup>2</sup>	4,119,423	1.02	64			76,732.37 m <sup>2</sup>	4,119,487	
立木竹	69 本	6,489					69 本	6,489	
	33,383.00 m <sup>3</sup>	315,987					33,383.00 m <sup>3</sup>	315,987	演習林
建 物	$\frac{9,843.39}{17,032.53}$ m <sup>2</sup>	52,305					$\frac{9,843.39}{17,032.53}$ m <sup>2</sup>	52,305	
工作物	157 個	26,126	14	42,583			171 個	68,709	
地上権等	515,355.34 m <sup>2</sup>	1,011					515,355.34 m <sup>2</sup>	1,011	演習林
普通財産	/	137,249	/		/		/	137,249	
土 地	1,360.57 m <sup>2</sup>	104,200					1,360.57 m <sup>2</sup>	104,200	
建 物	$\frac{326.15}{825.55}$ m <sup>2</sup>	33,049					$\frac{326.15}{825.55}$ m <sup>2</sup>	33,049	
工作物	7 個	0					7 個	0	
公有財産に準ずるもの	/	149	/		/		/	149	
電話加入権	7 件	149					7 件	149	

借 地 借 家 等 調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市 中泉220-3 地先	市道	市道	m <sup>2</sup> 0.30		無償	4.4.1 ) 9.3.31	磐田市長	学校案内 標識敷地
2	土地	学校敷地	磐田市 中泉168番 地先	市道	市道	m <sup>2</sup> 0.15		無償	4.4.1 ) 9.3.31	磐田市長	学校案内 標識敷地
3	土地	学校敷地	磐田市 中泉168番 地先	市道	市道	m <sup>2</sup> 51.00		無償	4.4.1 ) 9.3.31	磐田市長	インター ロック 敷地
			計			51.45					
1	河川	水路	磐田市 一言1635	水路	水路	m <sup>2</sup> 8.00		無償	29.2.16 ) 8.3.31	磐田市長	通路用コ ンクリート 蓋設置
			計			8.00					
1	建物	事務所建	磐田市 中泉168	鉄骨	2階建	m <sup>2</sup> 167.40 340.20		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	部 室
2	建物	事務所建	磐田市 中泉168	鉄骨	平屋建	53.46 53.46		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	部 室
3	建物	事務所建	磐田市 中泉168	木造	平屋建	69.07 69.07		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	水泳部 部室
			計			289.93 462.73					
1	工作物	雑屋建	磐田市 中泉168	鉄骨	平屋建	m <sup>2</sup> 27.44 27.44		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	ダッグアウト
2	工作物	雑屋建	磐田市 中泉168	鉄骨	平屋建	120.28 120.28		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	ピッチング 練習場
3	工作物	雑屋建	磐田市 中泉168	鉄骨	平屋建	179.40 179.40		無償	2.4.1 ) 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	打撃練習用 防球ネット
			計			327.12 327.12					
1	地上権等	地上権	森町三倉字 鳥井沢 2313 - 1	山林	山林	m <sup>2</sup> 515,355.34		無償	明39.4.1 ) 7.3.31	(宗)大日山金剛院	勤労体 験学習
			計			515,355.34					

## 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
債務負担行為			円	円	円	円	円	円
長期継続契約	電子複写機 賃借契約	電子複写機 2台  (契約日) 平成31年4月1日	1,956,636	388,476	392,040	392,040	392,040	392,040

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
債務負担行為			円	円	円	円	円	円	円
長期継続契約	電子複写機 賃貸借契約	電子複写機 2台  (契約日) 令和6年4月1日	1,617,000	323,400	323,400	323,400	323,400	323,400	
	業務用冷凍庫 賃貸借契約	業務用冷凍庫 1台  (契約日) 令和6年5月22日	1,188,000	198,000	237,600	237,600	237,600	237,600	39,600

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市中泉168	学校敷地	学校敷地	12本	1,730	20,760	3.4.1 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱3本 支線9条
2	"	"	"	"	"	28本	1,730	48,440	3.4.1 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 磐田営業所長	電柱12本 支線16条
3	"	"	"	"	"	231.66 m <sup>2</sup>		免除	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	部室2棟
4	"	"	"	"	"	0.42 m <sup>2</sup>		"	6.4.1 7.3.31	国土交通省国土地理院 中部地方測量部長	測量標石及び 表示杭1個
5	"	"	"	"	"	1,425.2 m <sup>2</sup>		"	2.4.1 7.3.31	磐田市長	公衆用道路
6	"	"	"	"	"	8.06 m <sup>2</sup>		"	3.4.1 8.3.31	磐田農業高等学校 同窓会会長	慰霊碑敷地
7	"	"	"	"	"	15.84 m <sup>2</sup> 2.65 m <sup>2</sup> 90.00 m		"	3.4.1 8.3.31	磐田農業高等学校 同窓会会長	記念館用 消火槽 埋設管・架空管
8	"	"	"	"	"	27.44 m <sup>2</sup>		"	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	野球部ダッグアウト
9	"	"	"	"	"	120.28 m <sup>2</sup>		"	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	野球部ピッチング 練習場
10	"	"	"	"	"	179.40 m <sup>2</sup>		"	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	野球部打撃練習 用防球ネット
11	"	"	"	"	"	284.06 m <sup>2</sup>		"	3.4.1 8.3.31	磐田農業高等学校 同窓会会長	記念碑等敷地
12	"	"	"	"	"	2.77 m <sup>2</sup>		"	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	野球部 カウントボード
13	"	"	"	"	"	2本	1,730	3,460	3.4.1 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 磐田営業所長	電柱1本 支線1条
14	"	"	"	"	"	69.07 m <sup>2</sup>		免除	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	水泳部部室
15	"	"	"	"	"	90.00 m <sup>2</sup>		免除	2.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	陸上部 棒高跳び走路
16	土地建物	学校敷地 事務所建	"	学校敷地 RC5階建	学校敷地 RC5階建	30.00 m <sup>2</sup> 9.90 m <sup>2</sup>		免除	5.4.1 8.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	教育振興会職員 通勤用具駐車地 執務場所
17	建物	事務所建	"	R C 2階建	R C 2階建	27.67 m <sup>2</sup>		免除	5.4.1 8.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	売店
18	"	"	"	"	"	3.00 m <sup>2</sup> 1.40 m <sup>2</sup>		4,570 免除	4.4.1 7.3.31	磐田農業高等学校 教育振興会長	自動販売機3台 空缶回収箱
19	土地	学校敷地	磐田市一言1636-1	学校敷地	学校敷地	2本	1,870	3,740	3.4.1 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 磐田営業所長	電柱2本
20	"	"	磐田市中泉168	"	"	2.00 m <sup>2</sup>		464,873	5.4.1 8.3.31	サントリービバレッジ ソリューション(株)	飲料用自動販売機 容器回収ボックス
	合計							545,843			

## 職員公舎管理状況調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	B の内 他事務所職員 入居戸(室)数	空屋戸 (室)数 (A - B)	摘要
1	磐田市国府台 71-1	昭和 51年3月	非木造 RC - 3階建	6	2	2	4	磐田西高校 1戸 浜北西高校 1戸 空屋 H24.4.1 1戸 空屋 R5.8.8 1戸 空屋 R6.4.1 1戸 空屋 R6.8.1 1戸
2	磐田市国府台 71-1	平成 3年3月	非木造 RC - 3階建	6	5	5	1	小笠高校 1戸 浜名高校 1戸 浜松湖北高校 1戸 磐田警察署 2戸 空屋 R2.7.5 1戸
	計			12	7	7	5	

主 要 備 品 調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区 分		品 名	規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小					
1	5-99	無菌箱	クリーンルーム装置 1式 クリーンルーム W5200×D3500×H2350mm 組織培養装置 1式、培養モニタリング装置 1式 ファイルサーバ 1式 パソコン2台 プリンター2台	2.3年生総合実習 2.3年生植物バイオ、課題研究 常時稼働	平成12年3月	27,613,740	円
2	7-1	環境整備用機器	ビオトープ環境情報蓄積装置 1式 気象ステーション MIN-MET03 1式 データ収集サーバ 1式 パソコン1台 自走式チョッパー SR110 1台 醗酵装置 BP-15 1台	2.3年生総合実習、課題研究 測定、造園計画 年間30時間	平成12年2月	24,979,500	
3	5-9	気象観測機器	気象環境計測装置 1式 気象監視衛星NOAA受信装置 1台 プリンター 1台	2.3年生総合実習、課題研究 測定 年間110時間	平成10年3月	24,930,000	
4	5-1	強度試験・計測機器	材料構造試験システム 1式 JTトーチ 最大秤量 1000KN 秤量変換 6段レンジ	2.3年生総合実習、課題研究 農業土木施工 年間30時間	平成9年3月	22,145,000	
5	7-1	育成用機器	植物生産科学実習装置 温室制御装置 1式 冷房装置 1式 暖房装置 1式 栽培ベンチ 1式 サイム装置 1式 かん水装置 1式 外部遮光フィルム 1式 温室被覆及びオペレータ装置 1式	2.3年生植物バイオ 2.3年生総合実習、課題研究 温室内植物(バイオ育成ラン)の育成 常時稼働	平成13年12月	22,008,000	
6	7-1	加工用機器	食品加工実習装置 生地混合装置 1式 生地焼成装置 1式 生地加工装置 1式 保管装置 1式 実習装置 1式 製氷装置 1式 洗浄装置 1式 給湯装置 1式 換気装置 1式 除菌装置 1式 調理道具装置 1式	2.3年生総合実習、課題研究 食品製造 年間910時間	平成13年11月	21,037,085	
7	7-1	育成用機器	メロン自動灌水システム 1式 コントローラ 横河FA-M3 1台 センサー20本 電磁流量計 横河ADMGA 15A 4台 土壌水分計 旭光通商 6050X1 1台	2.3年生総合実習、栽培技術 課題研究 温室内植物の育成 常時稼働	平成10年2月	21,000,000	
8	7-1	育成用機器	養液栽培実習装置 1式 養液栽培システム 1式 自動カーテン装置、栽培空調機器、温室サイド開閉装置 計測及び養液分析機、自動防除機	2.3年生総合実習、課題研究 2年生農業と環境、栽培技術 常時稼働	平成12年12月	20,905,770	
9	5-7	距離・長さ測量機器	環境デザイン実習装置 1式 デジタル動画再生ボード PC-9821V200/M7C 1台 カラー液晶プロジェクタ 1台、プリンタ-12台 イメージスキャナ11台、造園CAD	2.3年生総合実習、課題研究 農業情報処理、造園計画 年間140時間	平成9年3月	20,292,000	
10	7-1	環境整備用機器	複合環境制御装置 1式 複合環境制御装置 1式 天窓自動開閉装置、土壌水分センサー、灌水制御システム、 異常通報・モニタリング機器、温度センサー、管理棟内パソコン	2.3年生総合実習、栽培技術 課題研究、3年生生産システム 温室内植物の育成 常時稼働	令和4年3月	19,668,000	

整理番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
11	7-1	環境整備用機器	複合環境制御装置 1式 コンピュータ 横河ユーマック500 温風機 ネボンCA-202E 温度、日射量、風速計、雨センサー	2.3年生総合実習、栽培技術 課題研究、3年生生産システム 温室内植物の育成 常時稼働	平成7年3月	18,034,000 円
12	5-99	試験実験機器	水理実験装置 1式 丸東三友 相似河川水理、傾斜可変水理	2.3年生総合実習、課題研究 農業土木設計 年間30時間	平成7年3月	17,798,400
13	7-1	育成用機器	閉鎖型植物工場実験装置 パネル組立式 空調装置 光源装置 栽培装置 制御装置 保安装置 モニタリングカメラ 電源および給排水	2.3年生生産システム 2.3年生総合実習、課題研究 常時稼働	平成17年2月	17,536,470
14	5-7	距離・長さ測量機器	GPS測量装置 1式 GPS測量システム PENTAX9400 3台 リアルタイム測量システム PENTAX 1台 計算プログラム PENTAX 1式	2.3年生総合実習、課題研究 測量 年間30時間	平成10年3月	14,100,000
15	7-1	環境整備用機器	複合環境制御システム・データ収録機器装置一式 管理パソコンPC-MY23AEZE4 1台 プリンタPX-V780 1台 メロン温室用制御コントローラ1式 花・野菜用制御コントローラ1式 メロン温室用温湿度センサー R220-30 8台 養液コントローラ FRK220-21 4台 サンドフィルター 1台 データ収録装置一式	2.3年生総合実習、栽培技術 課題研究、3年生生産システム 温室内植物の育成 常時稼働	平成20年3月	13,716,150
16	5-5	食品化学機器	食品製造実習装置 1式 レトルト、蒸気釜、搾汁機 真空包装機、チョッパー バルバー、フィニッシャー	2.3年生食品製造、総合実習 課題研究 週18時間	平成8年3月	13,194,300
17	5-99	無菌箱	クリーンベンチ装置 1式 クリーンベンチ 8台 恒温振とう培養器 1台 生物顕微鏡オブチフォト 1台	3年生総合実習、課題研究 2.3年生選択 常時稼働	平成8年3月	12,150,000
18	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	複合環境制御装置 1式 サーバー機器 HP P067610-BGRH 1台 デスクトップパソコン 43台 プリンター DocuPrint C3550d 1台 ソフトウェア 一式	2年3年農業情報処理 課題研究 2.3年生選択、総合実践 週25時間	令和3年10月	9,845,000
19	5-4	クロマトグラフ	クロマトグラフ 高速液体クロマトグラフ装置 1台	2.3年生食品化学 3年生課題研究 週11時間	昭和62年3月	7,150,000
20	1-13	調理器具	燻製製造装置 SUB-1000 1台	2.3年生総合実習 3年生課題研究 年間100時間	平成29年3月	6,663,600

生産物受払調

(令和7年2月28日現在)

区分	品名(単位)	草花(本)				草花(プランター)(鉢)				草花(鉢物)(鉢)				
		4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				数量(鉢)				数量(鉢)				
		680	680	680	0	162	232	242	70	314	642	410	328	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	27,939	25,516	22,938	2,423	162	232	242	70	314	642	410	328	
	計	27,939	25,516	22,938	2,423	162	232	242	70	314	642	410	328	
単位数数量(イ/ア)		41.09	37.52	33.73	3.57	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100					8.7				0.0				0.0	
払高	売払数量	27,939	25,516	22,938	2,423	162	232	242	70	314	642	410	328	
	売払金額	1,955,730	1,835,890	2,064,420	119,840	178,000	239,400	265,790	61,400	91,820	240,970	142,600	149,150	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	27,939	25,516	22,938	2,423	162	232	242	70	314	642	410	328	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	じゃが芋(kg)				ナス(kg)				ピーマン(kg)				
		4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	4年度a	5年度b	数量調査作付日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		236.0	193.1	236.0	42.9	107.3	64.4	64.4	42.9	107.3	107.3	107.3	0.0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	195.6	259.0	152.08	63.4	503.09	307.40	161.58	195.69	384.45	288.60	306.78	95.85	
	計	195.6	259.0	152.08	63.4	503.09	307.40	161.58	195.69	384.45	288.60	306.78	95.85	
単位数数量(イ/ア)		0.83	1.34	0.64	0.51	4.69	4.77	2.51	0.08	3.58	2.69	2.86	0.89	
同前年比(%) (b-a)/a×100					61.4				1.7				24.9	
払高	売払数量	195.6	259.0	152.08	63.4	503.09	307.40	161.58	195.69	384.45	288.60	306.78	95.85	
	売払金額	40,708	61,352	42,412	20,644	78,589	85,777	46,893	7,188	106,128	101,247	105,347	4,881	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	195.6	259.0	152.08	63.4	503.09	307.40	161.58	195.69	384.45	288.60	306.78	95.85	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	草花(切り花) (本)				キュウリ(kg)				玉ねぎ(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		数量(鉢)				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		320	444	0	124	90.7	90.7	90.7	0.0	85.8	107.3	85.8	21.5	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	320	444	0	124	395.70	360.60	257.60	35.10	42.9	35.5	61.6	7.4	
	計	320	444	0	124	395.70	360.60	257.60	35.10	42.9	35.5	61.6	7.4	
単位数数量(イ/ア)		1.00	1.00	0.00	0.00	4.36	3.98	2.84	0.38	0.50	0.33	0.72	0.17	
同前年比(%) (b-a)/a×100					0.0				8.7				34.0	
払高	売払数量	320	444	0	124	395.70	360.60	257.60	35.10	42.9	35.5	61.6	7.4	
	売払金額	14,596	20,713	0	6,117	109,433	112,269	98,251	2,836	5,832	2,916	8,892	2,916	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	320	444	0	124	395.70	360.60	257.60	35.10	42.9	35.5	61.6	7.4	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	とうもろこし(本)				メロン(個)				枝豆(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		64.4	85.8	85.8	21.5	633.6	633.6	633.6	0.0	64.4	64.4	21.5	0.0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	187	255	63	68	860	707	855	153	22.92	8.80	0.00	14.1	
	計	187	255	63	68	860	707	855	153	22.92	8.80	0.00	14.1	
単位数数量(イ/ア)		2.91	2.97	0.73	0.06	1.36	1.12	1.35	0.24	0.36	0.14	0.00	0.22	
同前年比(%) (b-a)/a×100					2.1				15.2				56.1	
払高	売払数量	187	255	63	68	855	704	853	151	22.9	8.80	0.00	14.1	
	売払金額	4,531	9,396	6,242	4,865	1,035,552	947,450	1,148,051	88,102	7,776	4,752	0	3,024	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	5	3	2	2	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	187	255	63	68	860	707	855	153	22.9	8.80	0.00	14.1	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区 分	品名(単位)	トマト(kg)				苺ジャム(個)				ブロッコリー(kg)			
		4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				重さ(kg)				面積(m <sup>2</sup> )			
		105.6	0.0	0.0	105.6	500	500	730	0	85.8	85.8	64.4	0.0
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	9.75	0.00	0.00	9.75	1,440	1,440	2,016	0	104.88	147.70	52.51	42.82
	計	9.75	0.00	0.00	9.75	1,440	1,440	2,016	0	104.88	147.70	52.51	42.82
単位数量(イ/ア)		0.09	0.00	0.00	0.09	2.88	2.88	2.76	0.00	1.22	1.72	0.82	0.50
同前年比(%) (b-a)/a×100					100.0				0.0				41.0
払 高	売 払 数 量	9.75	0.00	0.00	9.75	1,440	1,439	2,016	1	104.88	147.70	52.51	42.8
	売 払 金 額	3,715	0	0	3,715	403,200	431,700	705,600	28,500	36,668	41,095	27,026	4,427
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		9.75	0.00	0.00	9.75	1,440	1,440	2,016	0	104.88	147.70	52.51	42.8
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘 要													

区 分	品名(単位)	かぼちゃ(kg)				ベーコン(kg)				ハム(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調書作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				重さ(kg)				重さ(kg)				
		64.4	42.9	42.9	21.5	210.9	214.8	128.7	3.9	532.4	539.2	380.2	6.8	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	40.5	36.0	54.85	4.50	164.713	187.310	112.612	22.597	459.709	487.563	356.402	27.854	
	計	40.5	36.0	54.85	4.50	164.713	187.310	112.612	22.597	459.709	487.563	356.402	27.854	
単位数量(イ/ア)		0.63	0.84	1.28	0.21	0.78	0.87	0.87	0.09	0.86	0.90	0.94	0.04	
同前年比(%) (b-a)/a×100					33.3				1.3				7.5	
払 高	売 払 数 量	40.5	36.0	54.85	4.5	164.551	187.175	112.515	22.624	459.354	487.174	356.078	27.820	
	売 払 金 額	2,884	3,294	10,616	410	450,010	509,880	340,870	59,870	889,660	939,380	715,050	49,720	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0.162	0.135	0.097	0.027	0.355	0.389	0.324	0.034
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		40.5	36.0	54.85	5	164.713	187.310	112.612	22.597	459.709	487.563	356.402	27.854	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

区分	品名(単位)	キャベツ(kg)				特定米穀(うるち)(kg)				ミトマト(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		42.9	42.9	42.9	0.0	6,686.0	6,686.0	6,686.0	0.0	90.1	90.1	90.1	0.0	
受高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	82.1	147.3	13.2	65.2	100.0	100.0	25.0	0.0	166.40	139.52	162.94	26.88	
	計	82.1	147.3	13.2	65.2	100.0	100.0	25.0	0.0	166.40	139.52	162.94	26.88	
単位数量(イ/ア)		1.91	3.43	0.31	1.52	0.01	0.01	0.00	0.00	1.85	1.55	1.81	0.30	
同前年比(%) (b-a)/a×100					79.6				0.0				16.2	
払高	売払数量	82.1	147.3	13.2	65.2	100.0	100.0	25.0	0.0	166.40	139.52	162.94	26.88	
	売払金額	3,207	13,098	4,950	9,891	5,200	8,600	4,825	3,400	91,946	87,033	117,402	4,913	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		82.1	147.3	13.2	65.2	100.0	100.0	25.0	0.0	166.40	139.52	162.94	26.9	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	玄米(うるち)(kg)				ニンジン(kg)				オクラ(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		6,686.0	6,686.0	6,686.0	0.0	107.3	42.9	107.3	64.4	42.9	64.4	85.8	21.5	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	2,032.7	2,715.5	1,586.3	682.8	55.42	171.22	203.86	115.80	6.6	40.77	51.3	34.2	
	計	2,032.7	2,715.5	1,586.3	682.8	55.42	171.22	203.86	115.80	6.6	40.77	51.3	34.2	
単位数量(イ/ア)		0.30	0.41	0.24	0.11	0.52	3.99	1.90	3.47	0.15	0.63	0.60	0.48	
同前年比(%) (b-a)/a×100					36.7				667.3				320.0	
払高	売払数量	2,032.2	2,715.0	1,585.8	682.8	55.42	171.22	203.86	115.80	6.6	40.77	51.3	34.2	
	売払金額	552,200	829,200	611,400	277,000	4,957	34,033	42,121	29,076	4,994	48,577	56,656	43,583	
	非売品 数量	分類換	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,032.7	2,715.5	1,586.3	682.8	55.42	171.22	203.86	115.80	6.6	40.8	51.3	34.2	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	小松菜(kg)				かぶ(kg)				白菜(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		15.8	25.9	25.9	10.1	27.6	27.9	27.9	0.3	64.4	64.4	64.4	0.0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	33.5	96.10	95.80	62.6	157.45	76.68	65.94	80.8	51.8	230.9	36.9	179.1	
	計	33.5	96.10	95.80	62.6	157.45	76.68	65.94	80.8	51.8	230.9	36.9	179.1	
単位数量(イ/ア)		2.12	3.71	3.70	1.59	5.71	2.75	2.36	2.96	0.80	3.59	0.57	2.79	
同前年比(%) (b-a)/a×100					75.0				51.8				348.8	
払高	売払数量	33.5	96.10	95.80	62.6	157.45	76.68	65.94	80.8	51.8	230.9	36.9	179.1	
	売払金額	7,560	16,373	46,268	8,813	26,763	12,344	20,454	14,419	7,406	40,427	7,200	33,021	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		33.53	96.10	95.80	62.6	157.45	76.68	65.94	80.8	51.8	230.9	36.9	179.1	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	みそ(パック)				さつまいも(kg)				大根(本)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		重さ(kg)				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		340.0	350.0	341.0	10	128.7	150.2	128.7	21.5	107.3	128.7	128.7	21.5	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	600.0	600.0	590.0	0.0	191.9	179.0	69.1	12.9	152	265	326	113	
	計	600.0	600.0	590.0	0.0	191.9	179.0	69.1	12.9	152	265	326	113	
単位数量(イ/ア)		1.76	1.71	1.73	0.05	1.49	1.19	0.54	0.30	1.42	2.06	2.53	0.64	
同前年比(%) (b-a)/a×100					2.8				20.1				45.1	
払高	売払数量	600.0	600.0	590.0	0.0	191.9	179.0	69.1	12.9	152	265	326	113	
	売払金額	240,000	270,000	265,500	30,000	44,771	62,650	25,000	17,879	9,891	22,127	24,443	12,236	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		600.0	600.0	590.0	0.0	191.9	179.0	69.1	12.9	152	265	326	113	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名(単位)	チンゲンサイ(kg)				野菜苗(本)				ホウレンソウ(kg)			
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				数量(本)				面積(m <sup>2</sup> )			
		14.1	14.1	14.1	0.0	146	0	80	146	33.3	17.4	17.4	16.0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30.50	39.15	5.93	8.7	146	0	80	146	42.39	59.76	28.80	17.37
	計	30.50	39.15	5.93	8.7	146	0	80	146	42.39	59.76	28.80	17.37
単位数量(イ/ア)		2.16	2.77	0.42	0.61	1.00	0.00	1.00	1.00	1.27	3.44	1.66	2.17
同前年比(%) (b-a)/a×100					28.2				100.0				170.9
払高	売払数量	30.50	39.15	5.93	8.7	146	0	80	146	42.39	59.76	28.80	17.37
	売払金額	7,263	8,056	2,677	793	8,760	0	5,600	8,760	16,459	23,458	18,158	6,999
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	30.50	39.15	5.93	8.7	146	0	80	146	42.39	59.76	28.80	17.37
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要													

区分	品名(単位)	みかん(kg)				レタス(kg)				いちご(kg)			
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )			
		2,400.0	2,400.0	2,400.0	0.0	64.4	42.9	42.9	21.5	24.0	24.0	24.0	0.0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	4,616.84	6,182.72	2,953.22	1,565.88	41.0	30.2	5.4	10.8	35.82	52.70	34.26	16.88
	計	4,616.84	6,182.72	2,953.22	1,565.88	41.0	30.2	5.4	10.8	35.82	52.70	34.26	16.88
単位数量(イ/ア)		1.92	2.58	1.23	0.66	0.64	0.70	0.13	0.06	1.49	2.20	1.43	0.71
同前年比(%) (b-a)/a×100					34.4				9.4				47.7
払高	売払数量	4,616.84	6,182.72	2,953.22	1,565.88	41.0	30.2	5.4	10.8	35.82	52.70	34.26	16.88
	売払金額	1,012,000	1,236,950	805,150	224,950	3,142	5,210	2,700	2,068	50,500	65,000	54,500	14,500
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4,616.84	6,182.72	2,953.22	1,565.88	41.0	30.2	5.4	10.8	35.82	52.70	34.26	16.88
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要													

区 分	品名(単位)	パブリカ(kg)				カリフラワー(kg)				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		面積(m <sup>2</sup> )				面積(m <sup>2</sup> )				
		0.0	21.5	21.5	21.5	0.0	21.5	42.9	21.5	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0.00	6.50	0.92	6.50	0.00	46.50	15.11	46.50	
	計	0.00	6.50	0.92	6.50	0.00	46.50	15.11	46.50	
単位数数量(イ/ア)		0.00	0.30	0.04	0.30	0.00	2.16	0.35	2.16	
同前年比(%) (b-a)/a×100					0.0				0.0	
払 高	売 払 数 量	0.00	6.50	0.92	6.50	0.00	46.50	15.11	46.50	
	売 払 金 額	0	3,336	986	3,336	0	4,148	5,601	4,148	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0.00	6.50	0.92	6.50	0.00	46.50	15.11	46.50	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要										

区 分	品名(単位)	パン(個)				合計				
		4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	4年度a	5年度b	監査調査作成日現在	差b-a	
面積、数量、長さ、重さ(ア)		重さ(kg)								
		0.0	0.0	25.0	0.0	21,384.9	21,627.9	21,085.6	243.0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0.00	0.00	965.00	0.00	42,088.66	42,533.99	35,354.99	445.33	
	計	0.00	0.00	965.00	0.00	42,088.66	42,533.99	35,354.99	445.33	
単位数数量(イ/ア)		0.00	0.00	38.60	0.00	1.97	1.97	1.68	0.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100					0.0				0.0	
払 高	売 払 数 量	0.00	0.00	965.00	0.00	42,082.645	42,528.969	35,352.073	399.824	
	売 払 金 額	0	0	96,500	0	7,511,851	8,378,101	7,946,151	866,250	
	非 売 品 数 量	分 類 換	0	0	0	0	6.017	5.024	2.921	0.993
		管理換その他	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000
	計	0.00	0.00	965.00	0.00	42,088.662	42,533.993	35,354.994	445.331	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要										

## 職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年月	摘要
1	校長	磯部 正之			.	
2	副校長	原田 直樹			.	
3	教頭	竹内 正明			.	
4	事務長	賀 知 治	事務総括		.	
5	教諭	河村 寿人	数学		.	
6	教諭	坂 本 直	農業(環境科学)		.	
7	教諭	立花 陽子	外国語		.	
8	教諭	西尾 眞一	農業(生産流通)		.	
9	教諭	紅林 孝博	農業(生産科学)		.	
10	教諭	望月 剛康	農業(生産科学)		.	
11	教諭	原田 恭宏	農業(食品科学)		.	
12	教諭	近 藤 隆	農業(環境科学)		.	
13	教諭	松浦 克行	保健体育		.	
14	教諭	佐藤 利幸	数学		.	
15	教諭	神戸 盛吉	理科		.	
16	教諭	鈴木 綾子	家庭		.	
17	教諭	水野 忠輝	外国語		.	
18	教諭	松本 教子	国語		.	
19	教諭	草川 昌輝	農業(生産科学)		.	
20	教諭	鈴木 知春	農業(生産流通)		.	
21	教諭	近藤 伴生	農業(環境科学)		.	
22	教諭	ロマノスキー 敬子	外国語		.	
23	教諭	鋤竹 あや子	地歴・公民		.	
24	教諭	片山 英浩	保健体育		.	
25	教諭	谷本 康代	家庭		.	
26	教諭	山本 智久	農業(生産流通)		.	
27	教諭	福島 徹也	農業(生産科学)		.	
28	教諭	近藤 裕志	農業(食品科学)		.	
29	教諭	森下 裕史	保健体育		.	
30	教諭	柴田 美穂	農業(生活科学)		.	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
31	教諭	深井 慎一	農業(環境科学)		年月	
32	教諭	山崎 正訓	農業(生活科学)		.	
33	教諭	三枝 真里奈	国語		.	
34	教諭	井出 翔太	農業(食品科学)		.	
35	教諭	戸塚 友梨	国語		.	
36	教諭	河合 晃樹	理科		.	
37	教諭	熊谷 正路	地歴・公民		.	
38	教諭	佐々木 陽平	農業(生産流通)		.	
39	教諭	杉本 進	保健体育		.	
40	教諭	宮島 翔世	数学		.	
41	教諭	櫻井 郁太	理科		.	
42	教諭	足立 嘉彦	農業実習(生産流通)		.	
43	教諭	川久保 篤	農業実習(生産科学)		.	
44	教諭	大場 雅之	農業実習(環境科学)		.	
45	教諭	佐藤 一	農業実習(生産流通)		.	
46	教諭	伊東 鋭次	農業実習(生産科学)		.	
47	教諭	平山 直玄	農業実習(生活科学)		.	
48	養護教諭	水谷 明子	養護		.	
49	主任実習助手	松下 行夫	農業実習(環境科学)		.	
50	実習助手	大塚 夏希	農業実習(食品科学)		.	
51	実習助手	藤井 杏丞	農業実習(生産科学)		.	
52	実習助手	佐野 愛深	農業実習(食品科学)		.	
53	実習助手	田澤 柊菜	農業実習(生活科学)		.	
54	主査	増田 広人	庶務		.	
55	主査	高木 暁子	庶務		.	
56	主任	藤下 舞	会計		.	
57	主任	本橋 香那	会計		.	
58	主事	小寺 由里子	庶務		.	
59	主任技能員 (用務員)	村松 浩行	環境整備		.	
60	主任技能員 (業務員)	石川 徹	環境整備		.	
平均年数					3.9	

## (臨時・会計年度任用職員)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
					年月	
1	教諭	牧野 仁美	国語		.	
2	教諭	松井 正樹	農業(生産科学)		.	
3	教諭	二村 薫	農業(生活科学)		.	
4	教諭	竹川 多寿	農業(食品科学)		.	
5	教諭	塩崎 晴康	農業実習(生産流通)		.	
6	実習助手	有馬 綾乃	農業実習(食品科学)		.	
7	実習助手	栗原 優月	農業実習(生産科学)		.	
8	外国語指導講師	Tyler Robinette	外国語		.	
9	非常勤講師	吉田 祐一朗	数学		.	
10	非常勤講師	福村 巖輝	保健体育		.	
11	非常勤講師	鷹野 美恵子	音楽		.	
12	非常勤講師	小柴 博嗣	美術		.	
13	非常勤講師	鈴木 真衣	書道		.	
14	非常勤労働職員	佐々木 静夫	農場管理		.	
15	非常勤労働職員	徳増 一太郎	農場管理		.	
16	非常勤労働職員	大石 剛史	農場管理		.	
17	非常勤労働職員	福本 あゆみ	農場管理		.	
18	非常勤労働職員	鈴木 加津久	農場管理		.	
19	非常勤労働職員	匂坂 敏男	農場管理		.	
20	非常勤労働職員	高林 要則	農場管理		.	
21	生産物管理 嘱託員	高塚 禎一郎	週休日・休日における植物管理		.	
22	生産物管理 嘱託員	曾布川 俊昭	週休日・休日における植物管理		.	
23	生産物管理 嘱託員	内藤 秋義	週休日・休日における植物管理		.	
24	生産物管理 嘱託員	稲垣 博	週休日・休日における植物管理		.	
25	健康管理医	鈴木 東洋	内科		.	
26	学校医	鈴木 東洋	内科		.	
27	学校医	藤田 昌弘	眼科		.	
28	学校医	梅原 潤一	耳鼻科		.	
29	学校 歯科医	西尾 隆太郎	歯科		.	
30	学校 薬剤師	鈴木 祐之	薬剤師		.	

## 職員の年齢調

（令和7年4月1日現在）

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上 30 歳未満	10 人	
30 歳以上 40 歳未満	8 人	
40 歳以上 50 歳未満	13 人	
50 歳以上 56 歳未満	14 人	
56 歳以上 61 歳未満	13 人	
61 歳以上	2 人	暫定再任用職員（2人）
計	60 人	平均年齢 45.1 歳

## 健康管理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 62人 職員数 63人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由  
育休 1人

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っており症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	19(19)人
D 2		要経過観察	8(8)人
D 3		医療不要	32(32)人
区 分 者 計			59(59)人
未区分者数			1人
合 計			60(60)人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者  
に対する措置状況

(2) 未区分の理由  
ア 産休・育休 1人  
イ 新規採用 人  
ウ 自己都合による未受診 人  
エ その他 人  
( ) 人